RIKEN TECHNOS

リケンテクノスグループ
RIKEN TECHNOS GROUP

CSR報告書
Corporate Social Responsibility Report

2014

リケンテクノス株式会社

編集方針

リケンテクノスグループは2002年10月に「環境報告書」を、2005年よりこれを「環境経営報告書」として、環境に主眼をおいた企業としての取り組みと成果を公表してまいりました。2007年からは社会的側面を含め「CSR報告書」とし、企業の社会的責任(CSR：Corporate Social Responsibility)の観点からリケンテクノスグループの経営理念実現に向けた取り組みと成果をわかりやすく報告することを心がけています。
「CSR報告書」の第8号となる本報告書は、「マーケットイン」を特集として取り上げました。経営方針である「Dimensional Change」を核としたリケンテクノスグループの営業活動の取り組みについてご紹介します。

報告書の対象範囲

報告対象期間

2013年4月1日～2014年3月31日
なお、本報告書には一部2014年度の活動内容も含んでいます。

報告対象範囲(所在地は20～23ページをご覧ください)

本報告書における環境報告の対象範囲は、リケンテクノス株式会社およびそのグループ会社下記17社です。項目によってはグループ会社を含まない場合もあります。

対象グループ会社名

- 進興電線株式会社
- 株式会社協栄樹脂製作所
- リケンテクノスインターナショナル株式会社
- リケンケミカルプロダクツ株式会社
- リケンファブロ株式会社
- リケンタイランドカンパニーリミテッド
- PT. リケンインドネシア
- 上海理研塑料有限公司
- 理研食品包装(江蘇)有限公司
- リケンU.S.A.コーポレーション
- リムテックコーポレーション
- リケンエラストマーズコーポレーション
- リケンテクノスヨーロッパB.V.
- 理元(上海)貿易有限公司
- リケンエラストマーズタイランドカンパニーリミテッド
- リケンテクノスインターナショナルコリアコーポレーション
- リケンテクノスインターナショナルプライベートリミテッド

報告対象分野

本報告書はリケンテクノス株式会社およびグループ会社の経営・社会・環境に関する取り組みを報告しています。

参考にしたガイドライン

本報告書の構成については、2012年4月環境省発行の「環境ガイドライン(2012年版)」および2007年6月環境省発行の「環境報告書ガイドライン(2007年版)」を参考に作成しました。

発行時期

2014年9月(次回発行予定　2015年10月)

発行経歴

年度	発行年月	名称
2003	2003年 9月	環境報告書
2004	2004年10月	〃
2005	2005年10月	環境経営報告書
2006	2006年10月	〃
2007	2007年10月	CSR報告書
2008	2008年10月	〃
2009	2009年10月	〃
2010	2010年10月	〃
2011	2011年10月	〃
2012	2012年10月	〃
2013	2013年 9月	〃

表紙について

リケンテクノスのコーポレートマークとリケンテクノスヨーロッパB.V.のあるオランダ、アムステルダムに咲きほこるチューリップ畑とを融合したデザインにしました。
コーポレートマークは2001年の創立50周年を機に社名変更と同時に一新したもので、RIKEN TECHNOSの"R"をベースに、コア事業であるコンパウンドとフィルムのイメージを組み合わせて信頼感を表し、未来へ羽ばたくしなやかな翼の形を表現しています。
リケンテクノスグループは、持続可能な社会の実現をステークホルダーの皆様とともに考え、行動していきます。

目次

編集方針 …… 2

特集

座談会 …… 4
マーケットインを目指して …… 12

リケンテクノスグループの概要

リケンテクノスグループ概要 …… 18
国内・海外ネットワーク …… 20
製品のご紹介 …… 24
コーポレート・ガバナンス …… 26

社会性報告

お客様とのかかわり …… 28
株主様とのかかわり …… 31
お取引先様とのかかわり …… 32
地域の皆様とのかかわり …… 34
従業員とのかかわり …… 38

環境報告

環境管理活動 …… 44
活動結果の概要 …… 46

有識者の意見 …… 53
編集後記 …… 53

2014年入社の皆さん

リケンテクノスの未来を担う新入社員の皆さんに、コア・バリューにある「仕事を楽しみワクワクする」をテーマに、「○○だったら、ワクワク」という用紙に、自分なりの「○○だったら」を書いてもらいました。

独自の技術で様々な産業を支えるリケンテクノス　**座談会**

“品質のリケン”“技術のリケン”その先にあるもの——

私たちは企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます。

これはリケンテクノスが創業60周年を機にまとめた
『リケンテクノス ウェイ』に書かれたミッションの一節です。

私たちは塩化ビニル樹脂をはじめとした
熱可塑性樹脂の配合加工技術をもって歩んできましたが、
その成果は半世紀以上を経て、
社会的にどういう意味をもたらしたのでしょうか。

そして、私たちはこれから、どんな価値を創り、
提供していけるのでしょうか。
清水社長を中心に、新設されたビジネスユニットの
ユニットマネージャーが熱い思いを語りました。

座談会出席者
清水　浩（代表取締役社長）
植山 俊一（理事 生活資材医療ヘルスケアビジネスユニットマネージャー）
島村 佳明（建材・建装材ビジネスユニットマネージャー）
大工原 敬次郎（車両ビジネスユニットマネージャー）
寺川 真澄（電材ビジネスユニットマネージャー）
大谷 寛文（取締役 情報電子ビジネスユニットマネージャー）
田坂 道久（取締役 ソリューションビジネスユニットマネージャー）

オブザーバー
住吉 正充（代表取締役常務 営業本部長）、箕輪 行晃（理事 コンパウンド統括部長）
岩本 良明（理事 フイルム統括部長）

司 会
経営企画室

もの造りと、ビジネスユニット制

▶お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。これから当社と社会とのつながりをテーマにお話しいただきたいと存じます。最初に、今年4月からスタートしたビジネスユニット制について、将来を見すえた狙いや目的をお話しいただけますか。

清水社長　一番の狙いは、製造と技術を一体化して市場変化に対応していこうということですね。これからは一人ひとりの営業活動を単独で終わらせることなく、マーケットをどう開拓するかという動きにつなげていかなければならない。ドラッカーも言っていますが、企業活動の一番大切なものはマーケティングとイノベーション。その取り組みをするためには、組織力をもってマーケティングをやるということです。今まで品質のリケン、技術のリケンと謳ってきた。たしかに**品質は差別化の要因ではあるけれども、それだけでは戦えない**というのが最近は実感としてあります。そこで市場の開拓をお客様の要望を軸として考え直してみる。そうして集まった声を、**我々がどうアレンジしていくか、どういう価値を付加できるかがポイントです。**言い換えれば当社の強みを活かす市場をどれだけ探せるかということをやる。それがビジネスユニットの大きな使命ではないかと思っています。

▶従来からいわれてきた「事業部制」とはどう違うのでしょうか。

清水社長　基本的には事業部制と変わりないと僕は思っています。市場を目指した取り組みをするためにマーケットインにフォーカスした言葉を使ったにすぎない。当社が色々な産業分野、市場に参入できたのは、

代表取締役社長　清水　浩

一人ひとりの取り組み方の成果だと思っています。技術者も営業をやり、営業職も技術をやり、製造も一緒になってお客様のところに行って、もの造りをやる。ビジネスユニットはそういう一体感をより深めていく組織概念だと考えています。

社会的にインパクトをもたらしたリケン技術をあげてみよう

▶今お話のあった品質のリケン、技術のリケン。今までで、とりわけこの製品はスゴかった、これは社会の役に立ったという例をあげていただけますか。

島村　建材分野では、コンパウンドでいえば、樹脂サッシをあげたいですね。窓枠の材料である**アルミを塩ビにすることで、断熱性、省エネルギー性が向上**します。結露もしにくいですね。元々は日本の北の方で需要が高かったのですが、2011年の東日本大震災以降、さらなる省エネが求められ、どんどん南下して普及していっている状況です。これは社会的な意味合いが大きかったと思います。

清水社長　フィルム分野では、木質の塗装を木目のフィルムに切り替えたケースがありました。大手家電メーカーと一緒になって加工方法まで一緒に考えた。

島村　はい、スピーカーボックスなど、私たちがプラスチックのフィルムを印刷メーカーさんに提供することで家電や家具に美しくデザインされた木目を使えるようになりました。それまでは塗装工程で大量の溶剤を使ったり、希少価値の高い木を伐採するという点が問題視されていました。

寺川　私が担当している電線の被覆材について言えば、見た目はどれも同じです。ところが、そこには**配合加工技術という独自技術が活かされており、**それが当社の強みになっています。1984年、東京・世田谷の電電公社（現NTT）で電線が燃えるという事故があり、一部の都市機能がマヒしてしまった。そこで当社がさらに燃えにくい電線の被覆材をつくって、これはかなりインフラ面で寄与したと思います。

植山　医療用の製品では、病院で使う血液バッグとか、透明チューブとか、ガスケットとか、治療には欠かせない、人命を守る製品が多数ありますね。厳しい基準の製品ですから、**研究、品質管理は安心安全を徹底**しています。

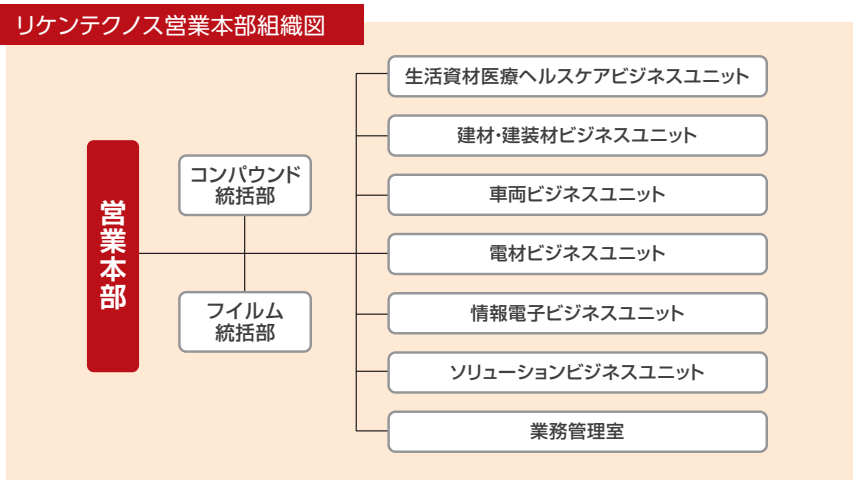
▶その時代、その時代に、当社が登場して役に立っているということですね。

大工原　車両ビジネスユニットでいうと、車の窓まわり、ドアまわりなどに使われる塩ビコンパウンド、エラストマーコンパウンドといった素材をあげたいですね。20年ほど前、ダイオキシンが問題になって自動車メーカーが塩ビから別のものに変えようという話があったときに、我々がエラストマーコンパウンドを提案して切り替えることができました。結果的に**車体の軽量化になり、燃費向上、CO_2の削減**にも結び付いて、環境面で大いに貢献できましたね。

清水社長　エラストマーについては田坂さんが技術部門に所属していたときに、基礎技術を固めたんですよ。我々が塩ビ以外の素材を扱えるようになったきっかけになりました。

大谷　**軽量化、安全・安心**というのは我が社の技術の大きなキーワードといっていいですね。特にあげておきたいのが、自動車用電線における貢献ですね。
車のエアバッグ用FFC（フレキシブルフラットケーブル）の被覆材は、人の命を守る重要な構成材料であり、我が社の高度に安全設計したフィルムが市場で高く評価され、活用されています。
また、自動車用ワイヤーハーネスの被覆材料についても、軽量化の市場要求

リケンテクノス営業本部組織図



があり、被覆厚が0.5mmから0.1mmまで薄くなってきたものの、薄肉化しても被覆強度を保つ材料を開発し評価され、グローバルに使われています。この分野では、リケンテクノスの技術が有効的に活用されています。日本は、軽薄短小が伝統的技術文化であり、リケンテクノスもそういう文化の中で貢献してきたといえます。

田坂　入社した頃に覚えているのがイヤホン。リケン製品だというので見ると、コードとかではなく、あの小さなイヤホンの2本のコードを束ねる輪のような3mmぐらいの径の部品に当社の製品が使われているというのです。目立たない部品ですが、たった25kgのコンパウンドから何十万セットも作り、供給しているという。「じゃあ、どこかに理研ビニル工業※って書いてあるのか?」と調べたが、どこにも書いていない。**リケンというのは社会のいろんなところに入り込んでいる**んだという、それが最初の衝撃でしたね。
最近の話では、リケンテクノスがまだやってないところを探したら、床とか外壁。そこで気温の高いタイで屋根に塗る「遮熱塗料」という物を売り始めたんですよ。最初は遮熱なんて不要だって言ってた現地の人が、それを使った部屋に入ってきて「エアコン入ってるんですか?」って。いや、これはリケンテクノスの塗料を塗ったからなんだという話が広まって、じゃあウチもウチもと…。

※理研ビニル工業：創業から2001年までの社名。

大谷　お客様とか市場の潜在意識を引き出したんですね。そういうカユイところに手が届く開発っていうのは、すごくパワーが必要なんです。先の先を見ていく。

建材・建装材ビジネスユニットマネージャー
島村 佳明（しまむら よしあき）

電材ビジネスユニットマネージャー
寺川 真澄（てらかわ ますみ）

車両ビジネスユニットマネージャー
大工原 敬次郎（だいくはら けいじろう）

理事 生活資材医療ヘルスケアビジネスユニットマネージャー
植山 俊一（うえやま しゅんいち）

取締役 情報電子ビジネスユニットマネージャー
大谷 寛文（おおたに ひろふみ）

取締役 ソリューションビジネスユニットマネージャー
田坂 道久（たさか みちひさ）

マーケットインとは お客様と一緒に 「はじめて物語」をつくること

▶先の先を見るという、これは一つのリケンテクノスの文化といっていいんでしょうね。

清水社長　そういう文化、風土を歴代の社長が育て、繰り返し語って、人を育ててきたんですね。私もそれにならって、私の思い、考えを、部課長はもちろん、海外を含めて現場で直接語っていくことがとても大切だと痛感しているところです。

▶繰り返し語っていくことで文化が定着していくんですね。

清水社長　そう思いますね。同じことを、何回も何回も飽きずに言うのが社長の仕事だと思っています（笑）。

▶今後、教育体制や教育のプログラムとしてお考えになっていることは？

清水社長　基本的には**徹底的に人を鍛える**ということです。落ちこぼれは絶対に許しません（笑）。すぐにも成果を出したいのはグローバル化に向けての英会話ですね。これは先生に社内に常駐してもらって、いつでも話せるようにしたい。

大谷　それは、「グローバル人材3ヵ年計画」の一環ですが、実際、既に計画の３倍近くの社員が海外に行っている。海外にお客様もいるし、原料の取引先様もいる。みんな行かざるを得ないという感じですね。

清水社長　もはやそういう時代なんです。ビジネスユニットのユニットマネージャーに課せられているのは、当社がどういう方向で進んだらいいのかという大きな目標に向けて戦略を描いて、**各部署をまとめるプロデューサーの役割。**そのベースとして、マーケットインという思想があると僕は思うんですね。そのことを語ってみませんか。

大谷　お客様のところに行ってプレゼンをやるわけですが、それは技術の説明をするよりも、我々の考え方をそこできっちりと伝えることに主眼を置いている。お客様もそれに同意をして、我々に期待して、こいつだったら信用できる、リケンテクノスだったら信用できるという風にお客様が思ってくれる。そこからが本当のスタートですね。

島村　当社の製品はカタログで売っているものはほんのごく一部。**ほとんど全製品がお客様との意見のやりとりや議論の中でビジネスが生まれている。**

大谷　お客様と一緒に「はじめて物語」をつくっているわけですよ。つまり、初めての製品を作って、このスペックを一緒に世に送り出しましょうという夢を共有する。それがマーケットインということだと思いますね。

田坂　マーケットインの逆はプロダクトアウト。うちの製品はこんないいところがあると、どんどん押しまくるわけで、これは日本人には向かない。だからマーケットイン。そこで必要なのが水先案内人というか、上手に顧客視点に誘導していく存在ですね。

島村　私のユニットは先ほど触れたように、コンパウンドとフィルムのミックス。一つのユニットになった効果を、これから発揮していかなければならない。フィルムのお客様でコンパウンドも必要としている、逆にコンパウンドを使いながら実際はフィルムも使いたいお客様がいるはず。そういう1+1=∞みたいな化学反応をもっと突っ込んでいきたいと考えています。

寺川　電材、電線関係というのはインフラに係る仕事が多く、どちらかというと昔から組織で動く部署だったんですね。競合するのも、日本を代表するような大手、財閥系グループなどで、そういう会社と戦うには、**組織として情報をとっていかないといけない。**

清水社長　だから、結局は**人と人のつながり。**黙っていても「ちょっといい情報があるからおいでよ」という関係を持っておくと、戦略的にものすごい広がりのある仕事ができるわけですね。マーケットインとコミュニケーションはつながっている。

大工原　車両のほうは、近年は地域をまたがっての部品供給が当たり前で、ビジネスユニットになってから日本だけでなく世界のマップでとらえることができるようになりました。目に見える

2014年7月 リケンテクノス本社にて

効果ですね。「次の車種、いつモデルチェンジだけど、どこのチームが、どこで攻めて、どうやって受注獲得できるのか」という戦略を我々は取れる。私のビジネスユニットでは、担当者がスペシャリスト化して、どんどん覚えていきますから、専門の市場に特化できる土壌ができたんじゃないかと思っています。

植山　医療では、これからの有望分野としてヘルスケアがある。抗菌消臭の枕など、「快適」さの提供とか。今のところコンパウンドが多いですけれども、フィルムのほうもいろいろ開発や市場調査しておりますので、多方面提携、共働のカタチで新しいものを生み出していきたいと思っています。

目先のことにとらわれると本当のマーケットが見えなくなる

▶今日は営業本部からもオブザーバーとしてご出席いただいています。この辺でマーケットインのお話に加わっていただけますか。

箕輪　ビジネスユニット制に変わったということで、**業界をより掘り下げていこう**という姿勢が明確になりましたね。責任と権限が明確になったのは間違いないと思います。これを機にそれぞれのビジネスユニットの垣根を越えて、もうすこし「横串」の発想が出てきてもいいのではないでしょうか。新しい事業戦略や設備投資にしても、ひとつのユニットで完結しないような課題というのは必ず起きるわけですから。

岩本　最近、社内で一番出てくる言葉は、「戦略」じゃないかと思います。まさしく箕輪さんが言ったように、業界の地図をしっかり把握しながら、自分のポジションと、お客様が向いている方向をしっかりおさえて、戦略的に取り組んでいきたいと思います。**俯瞰すれば、全ユニットをすべて自分の武器として考えられる。**そうすれば非常に可能性が広がるんじゃないか、と。

住吉　リケンテクノスの材料を買っていただけるお客様だけがマーケットのすべてではないということも重要です。どういうことかといえば、我々は中間素材をお客様に提供しているわけで、お客様はその中間素材を使って加工された製品を市場に出して、そのまた先にお客様がおり、その先にもまたお客様がいる。それが全部集まってマーケットを形成しているわけですね。だから、**お客様の先のお客様、その先までいって、いろんな話を集約**してこないと、本当の意味のマーケットインにはならないということです。まだまだスタートしたばかりですが、そういう姿勢で営業本部を運営していきたいと思っています。

清水社長　社内には営業の戦略委員会、技術の戦略委員会、製造の戦略委員会がある。こういう委員会を「横串」の情報共有の場にして有効活用していけば一体的な動きになるんじゃないでしょうか。もう一つ、スピード感をもって進めるためにも、協働できる企業との密着性みたいなものが要求されてくる。商売っていうのは最終的には人と人のつながり。どれだけお客様の気持ちに、懐に飛び込んでいくかってことですね。経営理念である**リケンテクノス ウェイに謳われている「信頼しあい貢献しあう」、「新しい価値を生み出す」がまさにマーケットインに必要な基本的価値観です。**

▶人と人とのつながり。まさに「信頼感」により、「新しい価値」が生まれる。マーケットインは、そのことを今まで以上に大切にしていこうということですね。長時間にわたってお話をありがとうございました。

写真：オブザーバー。左から、岩本（いわもと） 良明（よしあき）、住吉（すみよし） 正充（まさみつ）、箕輪（みのわ） 行晃（ゆきてる）

リケンテクノス ウェイ

ミッション（会社の使命・存在意義を表します。）

私たちは科学の力で　豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に 新たな価値と喜びを提供し続けます

コア・バリュー（基本的価値観を表します。）

信頼しあい貢献しあう
新しい価値を生み出す
常に挑戦し成長する
仕事を楽しみワクワクする
共に解決し共に喜ぶ

経営の基本方針

私たちは「チャレンジメーカー」です。
「リケンテクノス ウェイ」を基盤とし、技術本部・製造本部・営業本部が三位一体となった取り組みを推進します。具体的には、高い配合加工技術を活かした高付加価値の事業体質づくりを目指し、一層のグローバル戦略を推し進めます。リケンテクノスグループが造る、高品質で、高機能な製品を、世界のより多くの顧客に提供することを目指します。常識にとらわれず挑戦することが、私たち「チャレンジメーカー」としての使命です。

リケンテクノス株式会社　取締役、および監査役

環境に関する経営方針

適切な化学物質管理

リケンテクノスグループは、化学物質管理に関する諸法規・諸規制を遵守しています。また、自ら基準や目標を定め、より高いレベルでの環境管理を行っています。

環境負荷の低減

環境に配慮した製品開発や生産からお客様にお届けするまでのあらゆる場面で、環境負荷低減を目的にした取り組みを行い、廃棄物や二酸化炭素排出量の削減など地球環境保全への貢献を目指しています。

情報開示

リケンテクノスグループのこうした取り組み状況と成果を積極的に開示し、ステークホルダー、特に生産拠点のある地域住民の皆様からご理解を得るべく努力してまいります。

リケンテクノスグループCSR報告書

本報告書はリケンテクノスグループの理念実現と社会的責任に対する様々な取り組みとその成果をまとめたものです。
本報告書を通じて当社グループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

TOP MESSAGE

リケンテクノス株式会社
代表取締役社長
清水 浩

2014年4月に、3ヵ年中期経営計画の主要テーマのひとつである「最適な営業推進体制の構築」に向け営業組織を改編いたしました。改編にあたり、「マーケットイン」の思想を強く意識し、従来の製品別組織から市場別組織へと生まれ変わり、より市場の要望に応えやすくする体制を整えました。今回のCSR報告書の冒頭では、「マーケットイン」を目指し、創業から半世紀以上を経た今、過去の経験を踏まえどのような新しい取り組みを行っていくのか、ビジネスユニットマネージャーと語り合いました。対談形式にすることで、当社の営業部門の方針をよりわかりやすくお伝えすることができるのではないかと思っております。これからも、営業部門をはじめ、リケンテクノスグループは全社員一体となり、お客様の課題解決に取り組んでまいります。

特集

マーケットインを目指して

私たちリケンテクノスは、**自動車、建築、医療、生活資材、情報機器、電線、食品包材**など、
60年以上にわたって世界の様々な産業を素材の面から支えてきました。
そして、これからも、お客様の発想に応える機能を付加して、新たな価値と喜びを提供し続けます。
そのために、リケンテクノスは、もっともっとお客様に近づいてまいります。

建材・建装材市場

省エネの実現とデザイン性に富む空間を

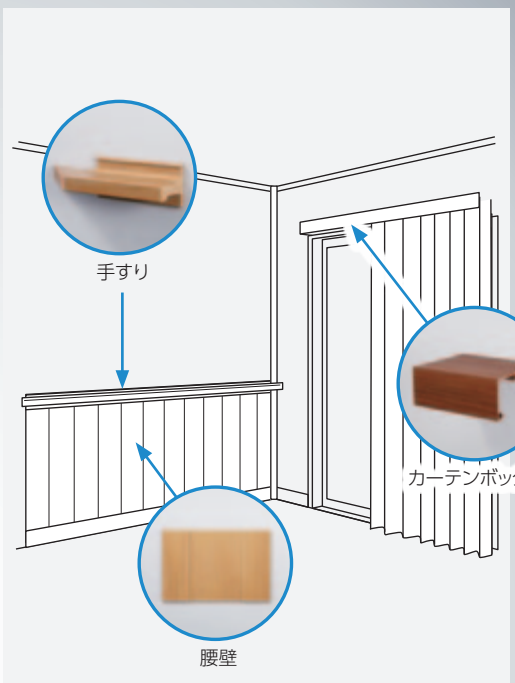
断熱をはじめ、様々な特性を持つ素材が省エネを実現します。
また、豊かなデザインを持たせながら、清掃性も高めるなど、大事な機能も同時にもつ内装材をお届けします。

■ 断熱窓枠

硬質コンパウンドで成形された窓枠は断熱性、気密性に優れることから、省エネ実現のため、今後さらに普及することが予想されます。

■ ユニットバス壁面

日本独自の進化を続けているユニットバスの壁面には、当社のフィルムが多く採用されています。表面の美しい光沢と石目調などの様々なデザインを持たせることができると同時に、耐汚染性、耐薬品性にも優れ、お掃除も簡単です。



■ 建装材部材

多くの内装部材が、発泡コンパウンドで成形されています。丈夫で軽く、耐汚染に優れた表面機能も付与することができます。美しい木目の再現も可能です。

営業担当の声

建材・建装材ビジネスユニット
建材・建装材東京グループ
グループリーダー
川嶋（かわしま）　寛（ひろし）

建材・建装材ビジネスユニットとしては、顧客ニーズをより的確に捉えるため、顧客密着営業を実践していきます。断熱・省エネ・防汚などの性能を持たせながら、豊かな住空間を演出するデザイン性も高めていきます。さらに、お客様の課題解決のため、生産性の良い材料開発などを進め、顧客メリットの創出を図ります。

電装材市場

過酷な条件下でも電気の供給システムを守ります

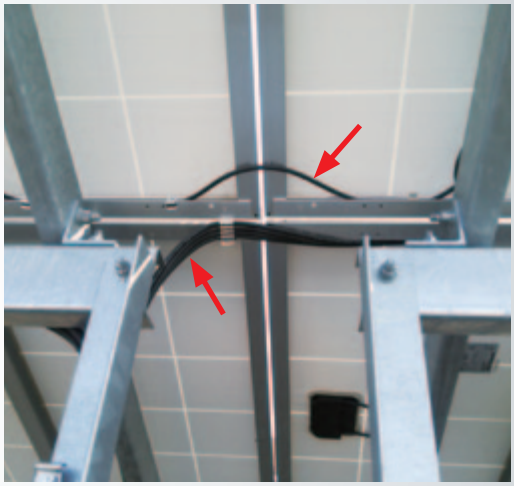
リケンテクノスの電線被覆材は、高い安全性と堅牢性をもっています。
インフラを丈夫な素材で守ることが私たちの役目です。
これからも軽くて、薄くて、丈夫な素材を開発していきます。

■ フレキシブルフラットケーブル

自動車のエアバッグ用フレキシブルフラットケーブルに使用されるフィルムは、当社が世界No.1のシェアを誇ります。当社のフィルムは、高い耐湿熱性、耐久性を満たしています。

■ 電力ケーブル

海外の新興国でも堅牢で高品質な当社のコンパウンドが被覆材として使われています。電力供給のためのケーブル被覆材として活躍しています。



■ 電線被覆材

ソーラー発電に欠かせない電線被覆材も提供しています。耐熱性、耐候性に優れ、発電した電力をしっかり届けます。

営業担当の声

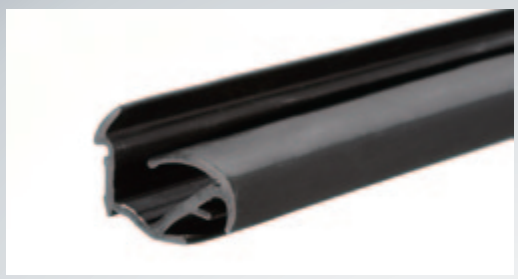
電材ビジネスユニット
電材東京グループ
グループリーダー
伊藤（いとう） 康朗（やすろう）

電材ビジネスユニットでの取扱商品は、電線被覆材料、エンプラ材料、電材に関わるフィルムになります。電線は、自動車分野、電力ケーブル、再生可能エネルギー分野、家電、機器等、多岐にわたっています。エンプラは、自動車分野に特化した金属代替材料等も取り扱っています。フィルムは、FFCフィルム、導電性フィルムが主体です。写真は、弊社群馬工場で事業化した太陽光発電で、ここに当社のケーブル材料が使用されています。あらゆる市場、産業でのニーズに対し確実に提案を行ない、社会に貢献していきます。

自動車市場

素材で自動車をもっと軽く

さらなる素材の軽量化に挑戦。
ひとつひとつの部品を軽くして燃費の向上を目指し、こだわりのデザインを実現します。



■ グラスランチャンネル

自動車の窓をグラスランチャンネルという部材が囲んでいます。その素材にエラストマーが使われています。エラストマーを使うことで、従来のゴムに比べて、軽量化、リサイクル、価格低減が可能です。

■ グロメット

自動車内部に走るワイヤーハーネスを束ねて、水などの侵入も防ぎ、保護する役割を果たす部品です。当社のエラストマーコンパウンドを使用することで、メタルレスにより軽量化を実現することができます。また、カラーリングも容易です。

■ 自動車内装加飾用フィルムRIVIC®

新加飾フィルムRIVIC®は、従来の加飾フィルム同等の色と柄に加えて、表面テクスチャー（=エンボス）を組み合わせる事で、今までにない新しいデザインを持たせることが可能です。

営業担当の声

車両ビジネスユニット
車両東京グループ
グループリーダー
増渕（ますぶち） 長則（ながのり）

車両ビジネスユニットでは、部品メーカー様だけでなく、自動車メーカー様との開発も行い、自動車産業に、新たな価値と喜びを提供し続けます。リケンテクノスのエラストマーで、塩ビやゴムを代替することにより、車両を軽量化し、燃費向上に貢献します。
また、表面テクスチャーを制御した車両用フィルムにより、様々な意匠、質感の表現が可能となり、自動車の魅力を向上させます。

医療・ヘルスケア市場

メディカルの安全性

安全性はもちろん、安定性の高い素材を。
高い品質で、安定した素材の供給を目指します。生活の中での心地よさも追求していきます。

■ 医療用チューブ

当社の塩ビコンパウンドは、血液バッグ、輸液チューブなど様々な医療器具に使われています。特別な管理のもとで生産することで、安心して使っていただいております。また、日本、タイ、インドネシアの３拠点に生産工場を持つことで、安定して素材を供給できる体制を整えています。

■ シリンジガスケットの栓

シリンジガスケットの栓部分にエラストマーが使用されています。液体をスムーズに押し出すことができ、医療従事者の作業負担の軽減につながります。

■ 枕のクッション材

枕のクッション材としてエラストマーが採用されました。枕を丸洗いすることができ、高温乾燥時にもクッション材であるパイプがくっつきません。パイプ同士のすれる音もなく、快適な寝心地を提供します。

営業担当の声

生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット
生活資材医療ヘルスケアグループ
グループリーダー

坂井（さかい） 寿生（ひさお）

我々の取り扱い分野である医療ヘルスケアにおいては、「安心・安全」、「医療従事者の作業性向上」、「患者の方々の快適さ」を念頭においています。マーケットインにより現場のニーズを把握して開発に反映させ、世界中の医療従事者と患者様を材料面で支える、その橋渡し役が当ユニットのミッションと考えています。

情報機器市場

先端技術を支えたい

情報電子機器のディスプレイをもっと丈夫に鮮やかに。
素材で光を制御し、素材も進化させ、割れないディスプレイに挑戦していきます。

■ 光学用フィルム

光学用フィルムとして、様々な製品を生産しています。

■ REPTY® DC100

ディスプレイ用の表面ガラスに代わるフィルムREPTY® DC100を開発しています。軽くて、割れない、そして曲げられるという特性を活かし、様々なディスプレイへの採用を目指しています。

営業担当の声

情報電子ビジネスユニット
情報電子グループ
グループリーダー
盧 蕙槿（ノ ヘグン）

当ユニットは情報電子機器を主たる事業として、マーケットイン思考を徹底実践してまいります。顧客感動の3ポリシー「優しい、安心、心づかい」を念頭におき、世界最強のガラス代替フィルム「REPTY® DC100」や各種ウィンドウフィルムを事業展開しています。顧客感動ビジネスを企画し、「熱意と徹底」「光のスピード」で事業を推進していきます。

新市場への挑戦

塗料配合技術を活かして

コンパウンドやフィルムの形にこだわらない製品で、社会へ役立ちたい。
そんな思いから生まれたのが、フィルム製品のコート技術で培った塗料配合技術を活かした製品です。

■ アルミ外装向けコーティング

アルミの外装は長期間経過すると白錆びや汚れなどの劣化により外観が損なわれます。当社のアルミ外装用コーティングは、このような外観を美しく生まれ変わらせ、長期間アルミ外装を保護します。施工も簡単で、施工箇所を研摩、洗浄後、当社の製品をコーティングするだけです。溶剤を使用しない水系特殊樹脂塗装のため、作業環境も抜群に優れています。

施工前

施工後

■ ケミカルタンク向け遮熱・防錆コーティング

ケミカル製品にとって夏場の温度上昇は大敵です。そのため、夏場に作業者が大量の冷却水をケミカルタンクに散水します。当社の遮熱・防錆コーティングを行うことで、タンクの温度上昇を抑え、冷却水の使用をゼロにすることも可能となりました。塗装しにくいステンレスにも使用でき、防錆によりタンクの印字の視認性も高まり、冷却水などのユーティリティコストの削減にも効果を発揮します。

営業担当の声

ソリューションビジネスユニット
営業グループ
グループリーダー
伊藤 俊郎（いとう としろう）

ソリューションビジネスユニットでは、遮熱塗料・土壌飛散防止剤、床用UV硬化塗料など、地球環境の保護のために、そして快適な生活環境実現のために、塗料を開発しています。
マーケットインのもと、塗料はそれぞれのお客様のニーズに合わせ設計しています。「豊かさ、安心、快適」をお客様に提供し、満足いただけるよう取り組んでいきます。

食品包材市場

食品の鮮度を保ちます。おいしさと鮮度を守るラップです。

1966年に日本初の塩ビ食品ラップを開発して以来、業務用（スーパー、飲食店など）、家庭用ともに、多くのお客様に長くご愛顧いただいています。お客様の使用場面に合わせたラップを開発し続けています。

■ リケンラップ®

器にぴったりはりつくのが特徴です。汁物の出前用など多くのシーンで活躍しています。

■ フォーラップ®

現在市販されているラップの中で耐熱温度は、業界No.1の180℃を誇ります。電子レンジでの調理にも最適です。

■ ラップもどりま線®

専用の紐を取り付けることで、ラップの巻き戻りを防ぎます。

「ラップもどりま線®」を発売しました

町田市少年少女発明クラブの小学５年生（当時）の中野結菜さんが発明した「ラップつきま線」のアイデアをもとに、「ラップもどりま線」として商品化しました。ラップの使用後に、ラップが巻き戻ってロールにくっついてしまうのを防止するアイデア商品です。結菜さんが、お母さんのお手伝いをしている時に思いついたアイデアで、「全日本学生児童発明くふう展奨励賞」など数々の賞を受賞しました。
彼女のアイデアとお母さんへの思いに共感し、少しでもお客様のイライラをなくしたい、と商品化にふみきりました。
2014年８月から発売を開始しました。

リケンテクノスグループ概要

会社概要(2014年3月31日現在)

社　　名	リケンテクノス株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)3月30日
資 本 金	85億14百万円
代表取締役社長	清水　浩
従業員数	連結 1,645名　個別 797名
本社所在地	東京都中央区日本橋本町三丁目11番5号

事業内容

リケンテクノスは塩化ビニル樹脂コンパウンドの商業生産とその販売を目的に「理研ビニル工業株式会社」として1951年に設立されました。

2001年の創業50周年を機に社名を理研ビニル工業株式会社から「リケンテクノス株式会社」(RIKEN TECHNOSは、"RIKEN" "TECHNOLOGY" "SUPPLIER"を統合した名称)に変更しました。

創業以来培われてきた合成樹脂加工に係る総合的な技術をベースに「コンパウンド事業」「フイルム事業」「食品包材事業」の3事業を柱に国内外で事業を展開しています。経営理念「リケンテクノス ウェイ」のもと、「科学の力のチャレンジメーカー」として、多様化・高度化するお客様や社会のニーズに適合した、高品質な製品・技術を提供しています。

コンパウンド事業

コンパウンドとは、ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成形に使われる素材です。

● **主要製品**

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど

フイルム事業

配合した樹脂の特性に適した製法で高品質のフィルム製膜を行っています。また、複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に機能性塗料をコートすることによって意匠性や機能性を持たせたフィルム製品を製造しています。

● **主要製品**

建築内装用化粧シート、鋼鈑用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど

食品包材事業

日本で初めて塩化ビニル樹脂のラップを開発したパイオニアとして、家庭用から業務用まで、食品包材用ラップの品質・性能を追求するとともに、食品や自動包装機などに適したラップを開発し、製造しています。

● **主要製品**

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど

業績

2013年度は、当社グループは、世界的な自動車生産の回復に伴う需要や国内建材市場の消費税率引き上げ前の駆け込み需要などを確実に取り込み、売上は増加いたしました。加えて、洪水被害を受けたタイ国現地法人が売上、収益ともに回復し、さらに2013年10月よりリケンファブロ株式会社を完全子会社化したため、増収増益となりました。

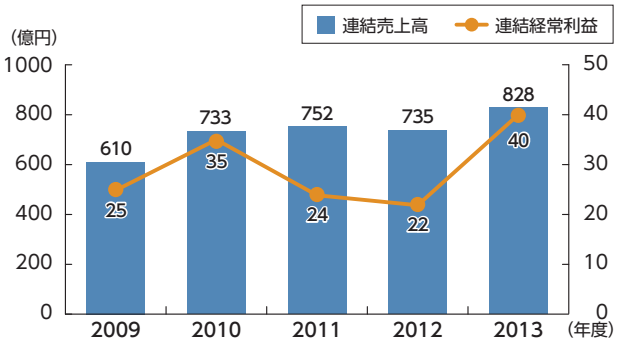
※業績についての詳細は、当社ホームページの「財務・IR」のページをご覧ください。

● **2013年度 業績**

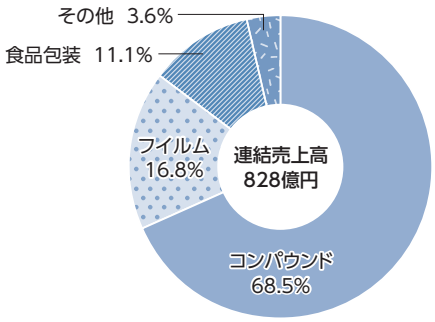
(単位:億円)

	連結	個別
売上高	828	427
営業利益	37	16
経常利益	40	29
当期純利益	19	19

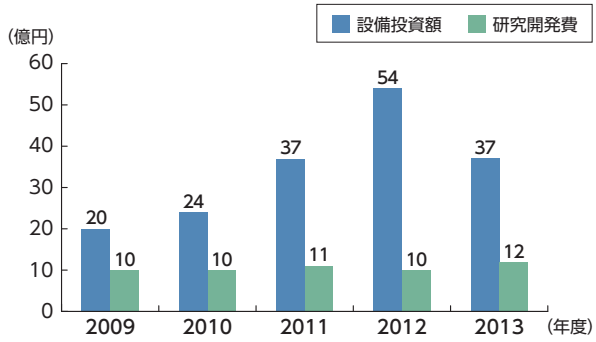
業績の推移【連結】



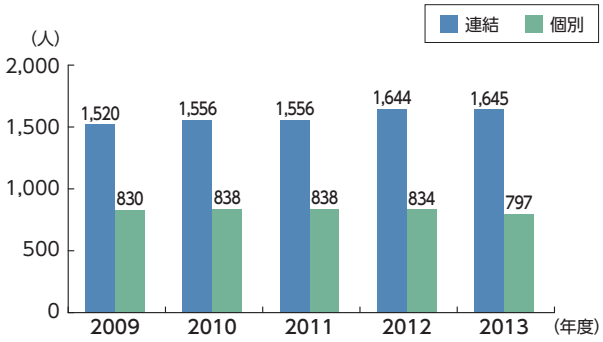
セグメント別連結売上高構成比



設備投資額および研究開発費の推移【連結】



従業員の推移



中期経営計画

2013年4月にスタートした3ヵ年中期経営計画は、順調な滑り出しとなりました。連結売上高こそ目標に届かなかったものの、連結経常利益は目標を上回る結果となりました。セカンドステージとなる2014年度は、「Dimensional Change ～グローバル、更なるスピードアップ～」という経営方針のもと、引き続き全社員が一丸となって、各課題の解決を実現してまいります。多様化する顧客ニーズを的確に捉え、スピードをもって対応し、3ヵ年中期経営計画の最終年度に向けた盤石な経営基盤を築いてまいります。

※業績についての詳細は、当社ホームページの「財務・IR」のページをご覧ください。

(連結ベース)	2015年度(最終年度)目標
連結売上高	1,000億円
連結営業利益	70億円
連結経常利益	70億円
連結当期純利益	40億円

「Dimensional Change」すなわち、「次元を変えた取り組み」を視覚的に表しています。個々の点をつないで線へ、その線を結んで面となり、そこにスピードが加わり、ひとつの未来に向かっていく様を表現しています。

主要課題

❶ コンパウンド事業の更なるグローバル展開

更なるグローバル展開を図ります。特に、重点市場と位置付ける自動車、医療ヘルスケア分野に関しては、世界でのプレゼンスを高めてまいります。

❷ フイルム事業の抜本的な立て直し

生産体制の最適化、海外生産拠点の実現などに取り組むと同時に、高機能製品の上市により高収益体質を実現してまいります。

❸ 最適な営業推進体制の構築

最適な営業推進体制の構築に向け、製品ごとの営業体制から市場分野ごとの営業体制へ組織変更を行い、マーケットインの活動を強化してまいります。

❹ ソリューション事業の事業化実現

製品の形にとらわれることなく、サービスも含め新たなビジネスモデルを築いてまいります。

❺ 徹底した人材育成

グローバルに活躍できる人材育成に努めるとともに、グループの全社員が「熱意を持って取り組み、徹底してやり遂げる」力を自ら育めるように取り組んでまいります。

国内・海外ネットワーク

リケンテクノスグループは、リケンテクノスおよび関係会社17社で構成されています。
創業以来、積極的に国内外市場を開拓し、リケンテクノスブランドの浸透に努めてきました。
「マテリアル・ソリューション・サプライヤー」として、
国内外拠点の連携により、総合的にお客様の課題を解決しています。

国内

●事業所　●製造会社　●販売会社
＊ISO9001認証取得　＊ISO14001認証取得

2014年9月1日現在

リケンテクノス株式会社事業所および国内関係会社

1 本社

2 大阪支店

3 名古屋営業所

4 埼玉工場

5 三重工場

6 群馬工場

7 研究開発センター

リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
① 本社	本社機構、営業	東京都中央区
② 大阪支店	営業	大阪府大阪市
③ 名古屋営業所	営業	愛知県名古屋市
④ 埼玉工場	コンパウンド・フィルムの製造	埼玉県深谷市
⑤ 三重工場	コンパウンド・フィルムの製造	三重県亀山市
⑥ 群馬工場	クリーン環境下での高機能フィルムの製造	群馬県太田市
⑦ 研究開発センター	研究開発および国内外拠点の技術的サポート	東京都大田区 埼玉県深谷市 三重県亀山市 群馬県太田市

国内関係会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
⑧ 進興電線株式会社	電線の製造・販売	埼玉県入間市	4,800万円	100%
⑨ 株式会社協栄樹脂製作所	合成樹脂製品の成型加工および製品の販売	東京都中央区	2,400万円	100%
⑩ リケンテクノスインターナショナル株式会社	合成樹脂加工品販売	東京都中央区	1,000万円	100%
⑪ リケンケミカルプロダクツ株式会社	コンパウンドの製造・販売	滋賀県湖南市	3億円	100%
⑫ リケンファブロ株式会社	食品包装用フィルムの製造・販売、日用品雑貨の製造・販売	東京都千代田区	2億円	100%

国内関係会社は本社所在地のみを表示しています。

⑧進興電線株式会社

⑨株式会社協栄樹脂製作所

⑩リケンテクノスインターナショナル株式会社

⑪リケンケミカルプロダクツ株式会社

⑫リケンファブロ株式会社

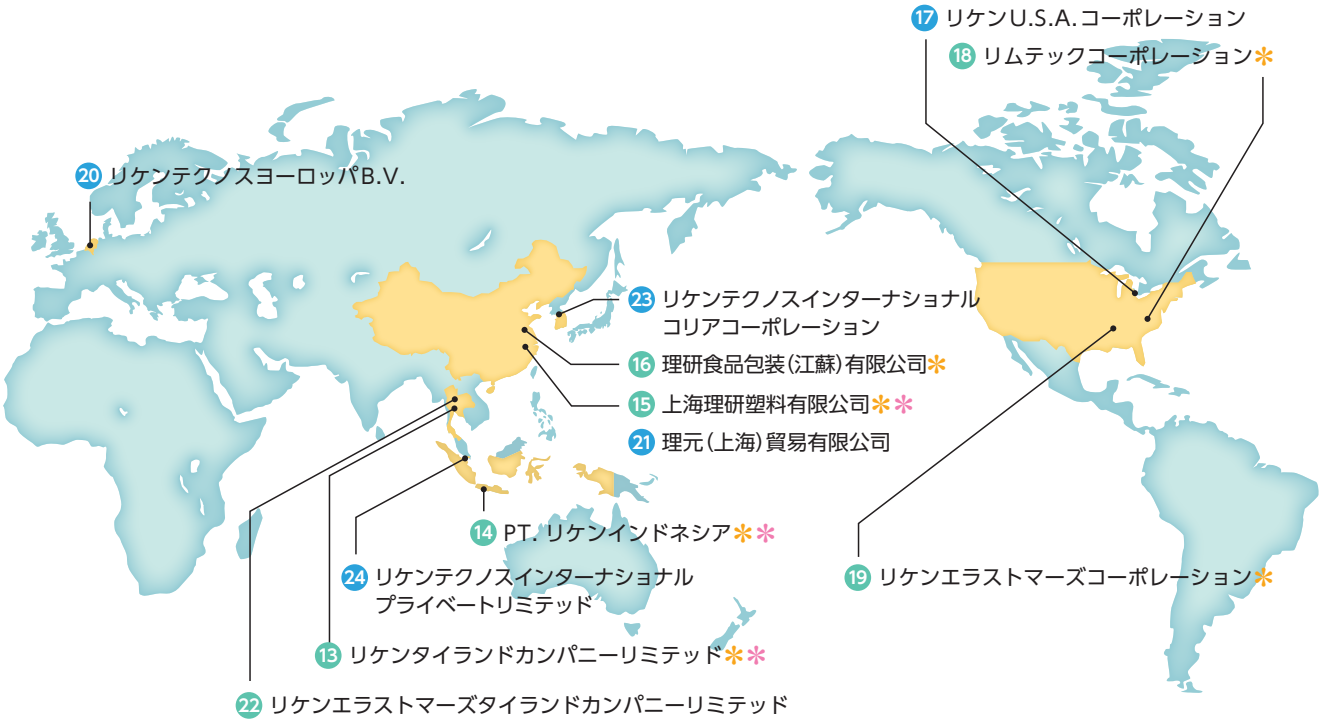
国内・海外ネットワーク

海外には12社の関係会社があり、世界中に高い品質のリケンテクノス製品をお届けしています。

海外

●製造会社　●販売会社
＊ISO9001認証取得　＊＊ISO14001認証取得

2014年9月1日現在



海外関係会社

⑬リケンタイランドカンパニーリミテッド

⑭PT.リケンインドネシア

⑮上海理研塑料有限公司

⑯理研食品包装(江蘇)有限公司

⑰リケンU.S.A. コーポレーション

⑱リムテックコーポレーション

⑲リケンエラストマーズコーポレーション

⑳リケンテクノスヨーロッパB.V.

海外関係会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
⑬ リケンタイランドカンパニーリミテッド	コンパウンドの製造・販売	PATHUMTHANI THAILAND	1億2,000万タイバーツ	40%
⑭ PT. リケンインドネシア	コンパウンドの製造・販売	WEST JAVA INDONESIA	1,000万米ドル	62%
⑮ 上海理研塑料有限公司	コンパウンドの製造・販売	上海市 中華人民共和国	750万米ドル	70%
⑯ 理研食品包装(江蘇)有限公司	食品包装用フィルムの製造・販売	江蘇省 中華人民共和国	1,350万米ドル	91%
⑰ リケンU.S.A.コーポレーション	機能性フィルム製品の仕入・販売	Michigan U.S.A.	390万米ドル	100%
⑱ リムテックコーポレーション	コンパウンドの製造・販売	New Jersey U.S.A.	1,000万米ドル	51%
⑲ リケンエラストマーズコーポレーション	高機能プラスチックコンパウンドの製造・販売	Kentucky U.S.A.	1,000万米ドル	100%
⑳ リケンテクノスヨーロッパB.V.	機能性フィルム製品の仕入・販売	AMSTERDAM THE NETHERLAND	40万ユーロ	100%
㉑ 理元(上海)貿易有限公司	プラスチック製品の卸売り・輸出入	上海市 中華人民共和国	500万人民元	100%
㉒ リケンエラストマーズタイランドカンパニーリミテッド	高機能プラスチックコンパウンドの製造・販売	AYUTTHAYA THAILAND	3億タイバーツ	100%
㉓ リケンテクノスインターナショナルコリアコーポレーション	プラスチック製品の卸売り・輸出入	ソウル市 大韓民国	6億韓国ウォン	100%
㉔ リケンテクノスインターナショナルプライベートリミテッド	海外販売会社の統括 プラスチック製品の卸売り・輸出入	シンガポール共和国	100万シンガポールドル	100%

※出資比率の欄の(　)内の数字は、間接保有割合(内数)であり、当社の子会社が保有しています。

㉑ 理元(上海)貿易有限公司

㉒ リケンエラストマーズタイランドカンパニーリミテッド

㉓ リケンテクノスインターナショナルコリアコーポレーション

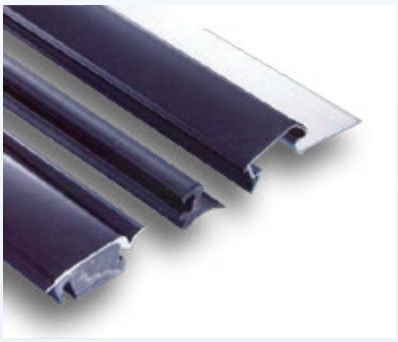
㉔ リケンテクノスインターナショナルプライベートリミテッド

製品のご紹介

リケンテクノスグループの製品は、用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。

コンパウンド製品

● 自動車外装用部品
(各種モール材)



● 自動車内装用部品
(シフトノブグリップなど)

● 電線
(自動車用、建築資材用、通信用、機器用)

● 建築内装用部材
(幅木、階段部材など)

● 食品用
(キャッププライナーなど)

● 日用品
(文具など)

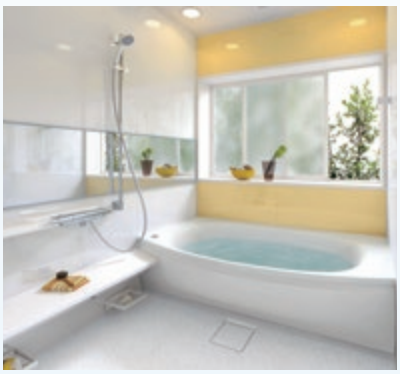
消しゴム

● 医療用(チューブなど)

フィルム製品

- キッチン・家具などの表面化粧フィルム

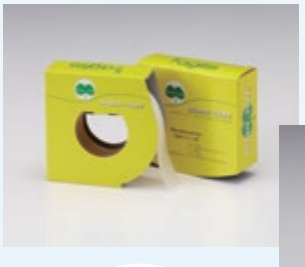
- ユニットバス壁面用フィルム

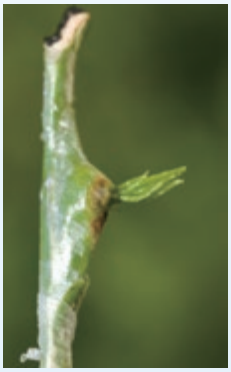


- 自動車内装用フィルム

- ウィンドウ用フィルム（RIVEX®、OPTIA®）

- 接木用フィルム





食品包材製品

- 家庭用ラップ
- 業務用ラップ

リケンラップ®は、
ぴったりくっつきます。

使いはじめが引き出しやすい「リケンカール®」

コーポレート・ガバナンス

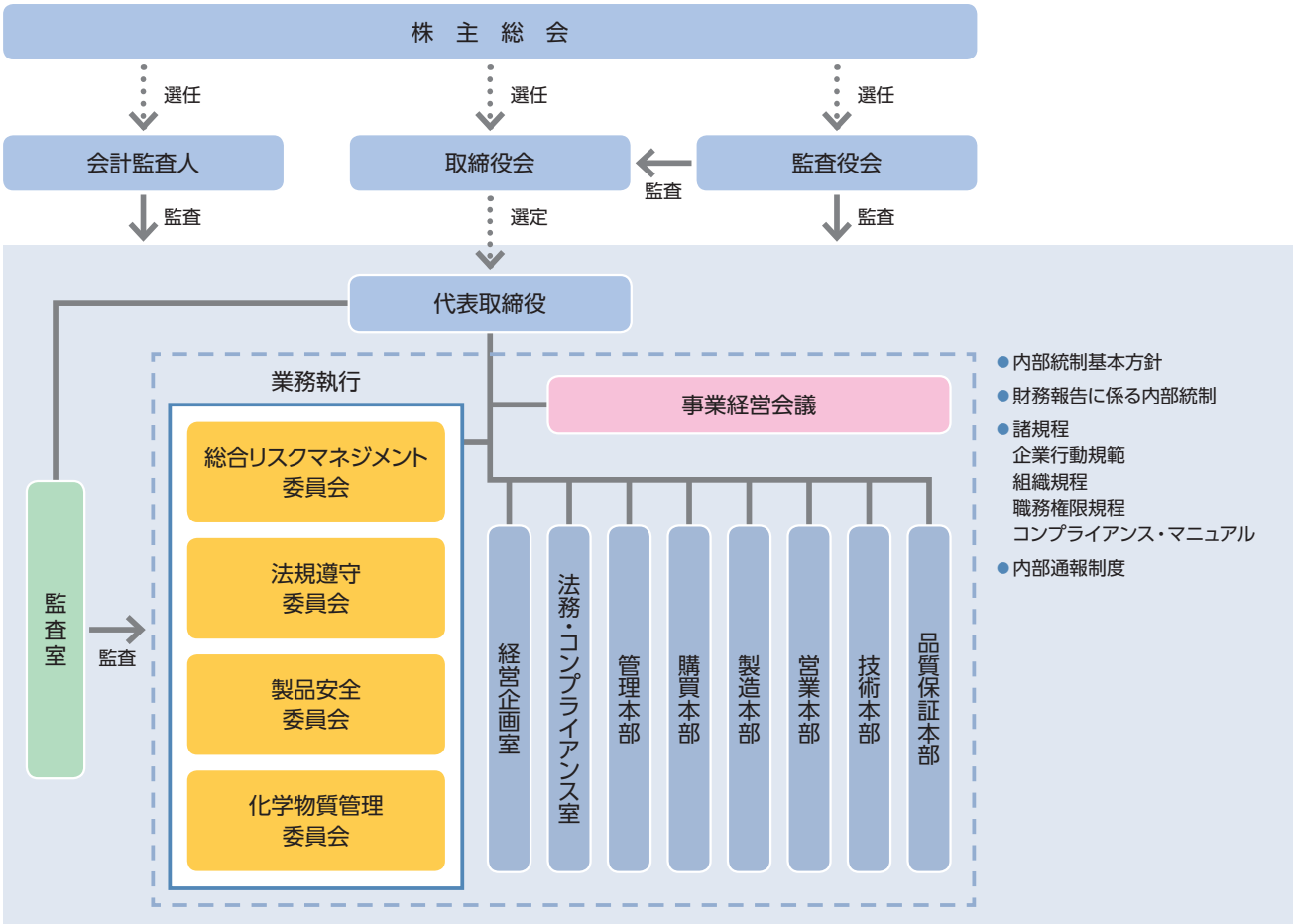
社外取締役メッセージ

リケンテクノスグループは国内をはじめ世界7ヵ国で製造・販売業務を展開しており、経営を取り巻く環境は、国内外の経済や社会の大きなうねりの中で日々目まぐるしく変化しております。こうした環境下、健全性と収益性を確保し、持続的成長を遂げるとともに、グローバル企業グループとして求められる社会的責任を果たしていくためには、コーポレート・ガバナンス体制と内部統制システムの構築が必須です。私は社外取締役として、従来の職歴を通じて修得してきた知見を活かすとともに、株主、取引先、消費者等の皆様の目線に充分留意して、経営者や経営の意思決定を監督し、コーポレート・ガバナンス体制と内部統制システムが的確で実効性のあるものに常に整備、強化されるように力を尽くす所存です。

リケンテクノス株式会社
社外取締役
根本（ねもと）　博（ひろし）

コーポレート・ガバナンス体制

リケンテクノスは下の図に示すコーポレート・ガバナンス体制を取っています。



リケンテクノスグループ企業行動規範

社会的信頼を確保し、企業の社会的責任を果たす基本方針として「リケンテクノスグループ企業行動規範」を定め、全ての役員および従業員がこれに従って活動を行っています。また、行動規範をカードにまとめて社員一人ひとりが常に携帯し、実践に努めています。

(http://www.rikentechnos.co.jp/CompanyInfo/corporatebehaviornorms.html)

内部統制システムの基本方針に沿った体制整備

「リケンテクノスグループ企業行動規範」を確実に実現するために「内部統制システムの基本方針」が制定されています。ここに示された対象のうちコーポレート・ガバナンス上、特に注力するべき項目とその取り組み状況は次の通りです。

1.取締役・使用人の職務執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

「リケンテクノスグループ企業行動規範」および法令・定款遵守がすべての企業活動においての基本であることを全員に徹底する一方で、法規遵守委員会による全社管理を行い、法務担当部署による全役職員を対象としたコンプライアンス教育を実施し、また内部通報制度を設けています。
また、いわゆる反社会的勢力とのかかわりを断固排除することを宣言しています。

2.損失の危機管理に関する規程その他の体制

代表取締役社長を委員長とする総合リスクマネジメント委員会を設置し、事業活動に潜在するリスクのうち、特に経営に重大な影響を与えるリスクとして特定したものについて、その発生を未然に防止し影響度合いの低減に努める一方で、発生時の対応の検討を進めています。

3.企業集団における業務の適正を確保するための体制

リケンテクノスグループ全体の内部統制システム構築と情報共有化の徹底を図るミッションを経営企画担当部署に与え、グループとして業務の適正性が確保できる体制を整えています。

4.監査が独立性を保ち、実効的に行われる体制

監査役は社内の重要な会議に出席し、議事録などの閲覧を行い、企業としての意思決定が適切に行われているか確認を行います。代表取締役との定期的な意見交換を行うほか、半期ごとに会計監査人、監査室を合わせた3組織による意見交換や、任意の役職員とのヒアリングを行い、実効的な監査が行われることを確保できる体制を構築しています。
また、内部監査については、2004年4月に設置した監査室が担当しています。内部統制の目的である「業務の有効性・効率性」「財務報告の信頼性」「法令などの遵守」「資産の保全」の達成のため、その6つの要素である「統制環境」、「リスクの評価と対応」、「統制活動」、「情報と伝達」、「監視活動」、「ITへの対応」を主眼に置いた監査を実施しています。

財務報告に係る内部統制

「金融商品取引法」に基づき、財務報告に係る内部統制の整備・運用および評価の基本方針書を作成し、2009年3月期決算から適用しています。
2014年3月期決算におけるリケンテクノスグループの財務報告に係る内部統制は有効であると評価する内部統制報告書を金融庁に提出しました。

コーポレート・ガバナンス報告書

当社のコーポレート・ガバナンス報告書を適宜開示しています。最新版は、東京証券取引所のホームページにある「コーポレート・ガバナンス情報サービス」のページよりご覧いただけます。

独立役員

リケンテクノスは、東京証券取引所上場規程第436条の2の定めに従い、独立役員3名(社外取締役1名、社外監査役2名)を選任しています。

内部通報ホットライン

リケンテクノスには内部通報規程があり、法令・規則違反に関する疑問などを連絡・相談する窓口として内部通報ホットラインが設置されています。相談者が社内で特定されないようにするなど、匿名性を確保し、相談者がいかなる不利益も受けないよう徹底しています。

情報セキュリティ

リケンテクノスでは、アクセス制限・データの暗号化などにより、情報漏洩リスクの最小化に努めています。不正アクセスに対しては最新のプロテクトシステムを導入し防止に努めています。
また、個人情報保護法に基づき、「個人情報保護基本規程」、「個人情報取扱規則」を制定・運用しています。

お客様とのかかわり

リケンテクノスは「科学の力のチャレンジメーカー」として、お客様に満足いただける製品を開発しお届けいたします。製品の安全性と品質にこだわり、化学物質の管理強化に努めます。

営業本部長メッセージ

営業本部が新たな組織に生まれ変わり、お客様とともに歩みを進めていきます。「建材・建装材」「電材」「車両」「生活資材医療ヘルスケア」「情報電子」「ソリューション」の6つのビジネスユニットがお客様とお客様のマーケットの視点に立ってお役に立てる競争力のある製品を提供してまいります。
さらに、技術本部・品質保証本部と一体となって、単なる製品のお取引にとどまらず、様々なご提案を通じて新たな価値と喜びを提供してまいりたいと考えています。
そしてお客様とともに明るい未来を築いていきたいと願っています。

リケンテクノス株式会社
代表取締役常務 営業本部長
住吉（すみよし） 正充（まさみつ）

技術本部長メッセージ

リケンテクノス技術本部は、開発者自らが直接お客様の声を聞き、市場やお客様が感動するようなカスタマーデライト開発を推進していきます。リケンテクノスの価値は、お客様からの感動指数であり、市場に喜ばれてこその新商品です。お客様と共に、市場が求める性能・品質・価格・納期の目標を共有し、市場競争力ある高付加価値製品を提供し続けます。
また、革新的イノベーションを創出すべく、各種企業の方々との協働による開発の取り組みにもチャレンジしてまいります。

リケンテクノス株式会社
取締役 技術本部長
兼 情報電子ビジネスユニットマネージャー
大谷（おおたに） 寛文（ひろふみ）

新たな挑戦へ

「高機能フィルム展」、「人とくるまのテクノロジー展」より最新の製品をご紹介いたします。

高機能フィルム展

「第5回 高機能フィルム展」
開催日：2014年4月16日～18日　場所：東京ビッグサイト

リケンテクノスの高機能フィルム製品について、広くPRすることを目的に高機能フィルム展に出展いたしました。展示した機能性製品をご紹介します。

展示会の運営社員

■ AQUATECT®

高親水性を持つ機能性フィルムです。フィルム表面が水になじみやすく、水アカなどの汚れを付着しにくくします。浴室の鏡やガラス面に着く水滴(くもりの原因)を水膜にして洗い流し、快適な視野を保ちます。

表面親水化による視認性の差
ガラスの表面に水をかけた際の効果を検証。左側は未処理。右側はフィルム施工済み。

ガラス代替フィルム
REPTY® DC100

技術本部 研究開発センター 第6開発室
第1グループ主任研究員
野沢(のざわ) 隆文(たかふみ) さん

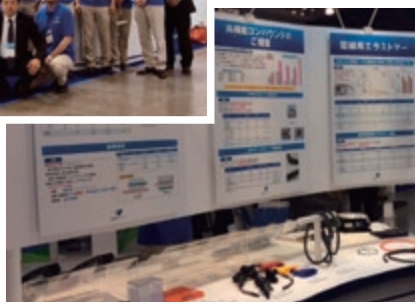
今年の出展コンセプトは「新しい技術で新たな可能性にチャレンジ」です。光学フィルム、車両用加飾フィルム、高機能で環境に配慮した建装材用フィルムを紹介し、大盛況となりました。これを機に新たなニーズの発掘や、新しいお客様との関係作りなど、営業・技術が一体となって活動していきます。

新製品ご紹介
「人とくるまのテクノロジー展2014」

「人とくるまのテクノロジー展2014」
開催日:2014年5月22日～24日　場所:パシフィコ横浜

リケンテクノスは「科学の力のチャレンジメーカー」として、最先端の技術を駆使し、多様化するニーズに合わせ、自動車分野でも様々な製品を開発しています。展示した製品をご紹介します。

展示会の運営社員



展示の様子

■ 機能性ゴム代替TPV

従来のTPVに比べて耐油性を大幅にアップしたコンパウンドです。オイルで膨潤しにくく、比重が小さいため軽量化を実現します。

O-リング

エアダクト

フィラーネック

ホース類

営業本部 車両ビジネスユニット
東京グループ
青山(あおやま) 嘉義(よしみつ) さん

「人とくるまのテクノロジー展」へは、今回で9回目の出展となります。コンパウンドは、内装外装、ゴム代替、電材の3分野をテーマに、フィルムは意匠フィルム中心に展示を行い、多くの来訪者から注目を浴びました。購買意思を持って頂いたお客様へ当社の製品をお届けできるよう営業活動をしてまいります。

お客様とのかかわり

製品の品質保証

品質保証本部長メッセージ

当社の品質方針であります「顧客第一、品質第一を念頭に置き、信頼性の高い製品・サービスを提供する」ことを目指して活動しております。そして、お客様が安心してお使いいただけて効率の良い生産ができる製品を提供してまいります。
品質保証本部として、世界的に広がっているお客様に「グローバルなリケンテクノス品質」をお届けする体制を整えました。どの拠点からでもお客様に貢献できる製品を提供いたします。
また、環境との調和に配慮した製品づくり、環境負荷物質および、廃棄物の削減を推進しております。

リケンテクノス株式会社
取締役 品質保証本部長
島田（しまだ） 高志（たかし）

リケンテクノスはISO9001*1の仕組みを活用しています。各生産拠点に品質保証部門を置き、原材料受け入れから製品納入まで全工程の品質管理を徹底しています。さらに、毎月生産拠点・製造課ごとに品質改善委員会を開催し、不良事例および改善対策、改善実施状況の管理を行い、一層の品質向上を目指し努力しています。
また、製品の開発段階より、お客様のご要望を満たし、安定した品質が得られる材料設計に注力し、新素材などの環境対応型製品も積極的に開発しています。

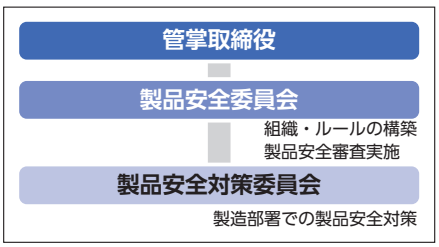
安全に配慮した製品開発

■ 製造物責任（PL*2）対応

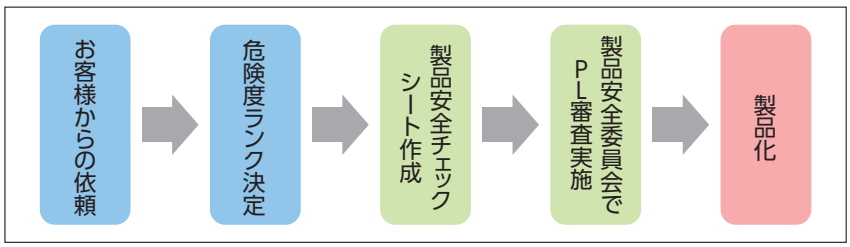
メーカーに課せられた使命として、当社設立以来、製品の安全性に配慮してまいりました。また、製造物責任法*3の施行を機会に、1995年1月PL問題の発生を防止するシステムを構築するなど、「製品の安全性」への取り組みをさらに強化しています。

製品安全基本方針（製品安全規定より）
製品の開発段階からお客様への納入まで、製品の安全性を確立し、製造物責任に関する諸問題の発生を未然に防止する。

● 製品安全組織



● 製品安全審査手順



化学物質の安全性の管理強化

■ 規制対象化学物質の混入防止製造ライン

ELV指令・RoHS指令などの規制対象化学物質の混入を防止できる製造ラインとなっています。

■ 化学物質管理委員会の設置

「化学物質管理指針」を設定し、法律で禁止されている化学物質のほか、化学物質審査規制法の第一種・第二種特定化学物質と監視化学物質も使用しておりません。労働安全衛生上、避けるべき化学物質も自主的に削減しています。

*1 ISO9001：製品やサービスの品質保証を通じて組織の顧客や市場のニーズに応えるために活用できる品質マネジメントシステムの国際規格
*2 PL：Product Liability 製造物責任　*3 製造物責任法：日本では1995年7月に施行

株主様とのかかわり

**株主の皆様のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、
何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。**

情報開示について

リケンテクノスは、常に株主や投資家の皆様の視点に立った迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切に行っています。皆様に事業活動の状況や戦略などへの理解を一層深めていただけるよう、東京証券取引所の適時開示基準以上の積極的開示をするよう努めています。
また、当社ホームページに財務・IRに関するページを設け、決算短信、適時開示資料、有価証券報告書などを情報開示後、速やかにホームページに掲載しています。

利益配分に関する基本方針

リケンテクノスは従来から安定した配当を継続して実施することに努めています。積極的な事業展開を行うため十分な内部留保の維持と株主の皆様に対する利益還元を果たせるよう、剰余金については自己株式の買い受けを含め、効率的な使用を取締役会で十分検討の上、決定しています。2014年3月期配当金については、昨年同様に1株当り5円とし、中間配当金を含めた年間配当金は、1株当り9円とさせていただきました。

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
2010年3月期	3円00銭	3円00銭	6円00銭
2011年3月期	4円00銭	4円00銭	8円00銭
2012年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2013年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2014年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭

単元株式数の変更

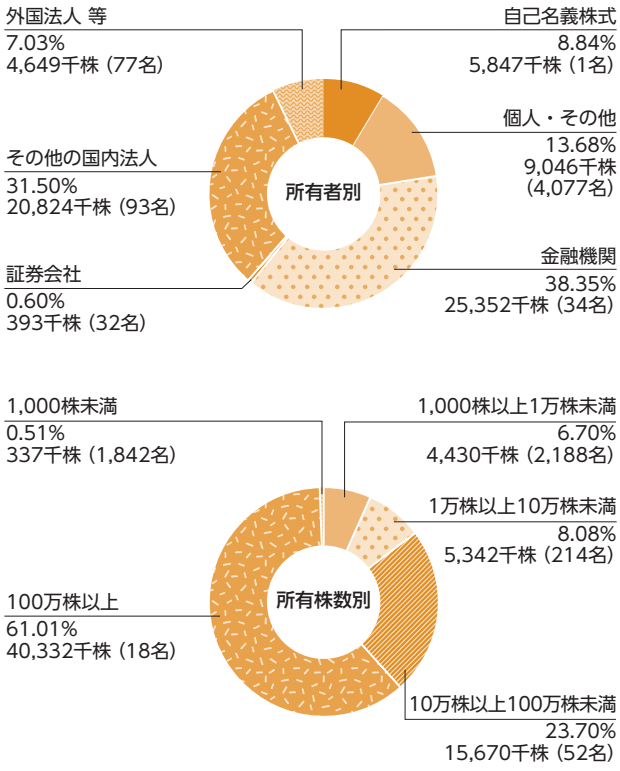
リケンテクノスは、投資家の皆様にとって、より投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るとともに、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、2014年7月1日より、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。
単元株式数の変更に伴い、定款を一部変更いたしました。

株式状況・株主の構成(2014年3月31日現在)

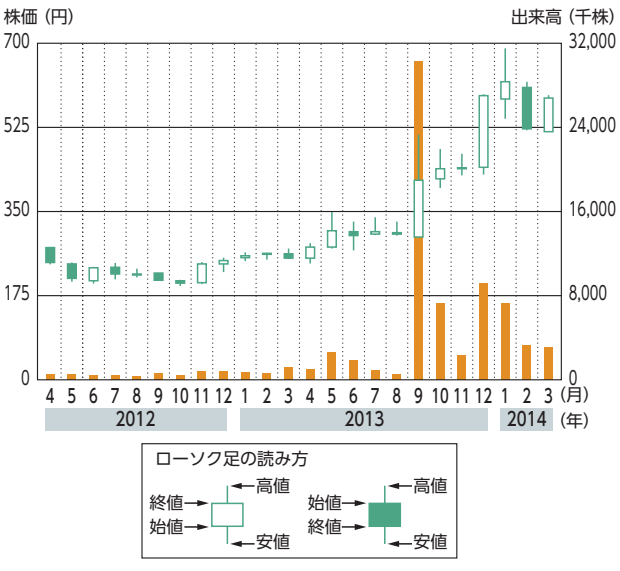
株式の状況

発行可能株式総数	236,000,000株
発行済株式の総数	66,113,819株
株主数	4,314名

所有者別・所有株数別株式状況



株価および出来高の推移



お取引先様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。また、コストダウンのために購買の窓口を広げ、競争力のある原料調達に努めています。

購買本部長メッセージ

平素からお取引先様には様々なご提案およびご協力を頂いております。
近年、天災、プラント事故、エネルギー革命、地政学リスク、等でBCP対応を含めた原料ソースの多様性がさらに高まっています。また、ボーダーレス化したグローバルな展開が様々な事象として現れています。このような中で、品質、安全、供給、コストに適合した物品を、国内外を問わず新規のお取引の機会を公平に提供すると共に、お取引先様と相互信頼に基づいたパートナーシップを築きあげながら長期的なお取引ができるように努めています。「企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます」を具現化するために、お取引先の皆様とWin&Winで共に成長発展していきたいと願っています。

リケンテクノス株式会社
理事 購買本部長 兼 資材部長
杉江（すぎえ） 剛（たけし）

当社の購買方針について

❶ **公正な購買取引と選定**
対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な参入機会を提供します。

❷ **パートナーシップの構築**
お取引先様と良好な人間関係を保ち、人間的尊厳を重視し不当な差別はいたしません。

❸ **関連法令の遵守と自主管理**
お取引先様との機密情報の取り扱いに留意し、社会的規範や関連法令を重視し、リケンテクノスグループ グリーン調達基準に基づき購入を行います。

❹ **お取引先様の状況**
購入にあたり、特に「技術力」「競争力」「経営力」を考慮しています。

当社の購買体制について

当社の購買業務は、本社購買本部の資材部と、各工場の業務課が行っています。

購買担当
資材部 集中購買による原材料・原反・燃料・包装資材・高額設備関連など。
各工場の業務課 消耗品・貯蔵品・設備関連など。

サプライチェーンマネジメント

お客様により安全な信頼性のある製品をお届けするため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。2013年度は、21社の原材料購入先、委託加工先、運送委託先、産業廃棄物処理委託先の環境を含めた品質監査を実施し、改善にご協力いただきました。

リケンテクノスグループ グリーン調達基準

環境に配慮した製品を提供していくためには、環境負荷のより少ない原材料や副資材を調達することが不可欠です。当社は2004年度に環境関連物質に関する「グリーン調達基準」を策定し、ホームページ上に公開しました。さらに、2009年8月、関係会社もこの基準の範囲に加え「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。
また、文具・OA機器等の事務用品については「グリーン購入基準」を策定し、可能な限りエコ商品の購入を促進しています。

※詳細は当社ホームページをご覧ください。

■ 適用範囲

当社が調達する樹脂、可塑剤、安定剤、充填剤、強化剤、着色剤、フィルム基材、塗工剤、接着剤など直接製品を構成するものや、包装材、離形紙などの副資材など。

■ 要求事項

a. お取引先様における環境管理システムの構築

b. 環境関連物質の管理等に関する環境パフォーマンスの達成

c. 当社が指定した環境関連物質に関する調査および報告。「RoHS6物質の測定データ」、「化学物質含有情報シート」の提供

■ 運用

原材料・副資材は、環境関連物質中に含有禁止物質が含まれていない、あるいは管理すべき物質の含有量が把握されているものを調達しています。また、評価結果により、お取引先様に対しより安全で環境負荷の少ない原材料・副資材への改善をお願いする場合があります。

■ グリーン購入基準

- 適用範囲

当社の本社・支店・工場・研究開発センターで購入または借り受ける紙類等の文具、コピー機・パソコン等のOA機器や自動車等。

- 要求事項

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に準じた環境負荷が少ない、有害物質を含有しない等の基準を満たすこと。

- 運用

お取引先様には、積極的にエコ商品を紹介してくださいますようお願いしています。

物流における環境への取り組み

- 自動配車組みシステムによる積載効率の向上を目指します。
- 製品納入の帰り車の利用による実車率の向上を目指します。
- 物流拠点の統廃合を行っていきます。
- 省エネ法による特定荷主としての義務を果たしていきます。中長期的にみてエネルギー消費原単位の年率1%低減が目標です。
- ユーザーからのパレットの回収による購入枚数の削減、森林資源保護のためプラスチック製への変更を推進していきます。
- グリーン物流促進事業へ参加していきます。

■ 品質安全活動

- 提携運送会社によるISO9001の認証取得、Gマーク(安全性優良事業所)の認定取得を推奨しています。

亀山急送株式会社

グリーン経営認証
登録日:2009年1月19日　有効期限:2015年1月18日
ISO9001登録証
登録日:2003年5月9日　有効期限:2015年5月8日

株式会社モテギ

Gマーク登録証
登録日:2007年12月20日　有効期限:2015年12月31日
ISO9001登録証
登録日:2000年3月10日　有効期限:2016年4月1日
ISO14001登録証
登録日:2004年10月29日　有効期限:2016年10月28日

- **輸送量とCO₂発生量**

輸送	2011年度結果	2012年度結果	2013年度結果
輸送量(トンキロ)	31,320,000	31,301,000	28,189,000
CO_2発生量($t-CO_2$)	5,438	5,433	4,911

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、各事業所の地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいています。

地域の皆様との交流

■ 埼玉工場

- 近隣住民との懇談会(年1回)
- インターンシップ受け入れ
- 深谷市おかべコスモス祭への協賛
- 深谷市おかべふれあいカーニバルへの協賛
- 深谷市シティーハーフマラソンへの協賛
- 近隣自治会の夏祭りの協賛
- 深谷市岡部地区体育祭への協賛
- 近隣小学生の工場見学受け入れ
- 近隣中学生の職場体験の受け入れ
- 地域グランドゴルフ大会への協賛
- 献血の実施(年2回)

埼玉県深谷市
イメージキャラクター
「ふっかちゃん」

埼玉工場 こども祭り

埼玉工場 小学生向けの工場見学を実施

埼玉工場 深谷地区防火安全協会および
深谷市消防本部主催「自衛消防隊屋内消火栓操法指導会」

■ 三重工場

- 近隣住民との懇談会・工場見学の実施(2年に1回)
- 中学生・高校生職場体験の受け入れ
- 亀山市駅伝大会への協賛及び参加
- 亀山市納涼大会への協賛及び参加
- 関宿の納涼花火大会への協賛
- 近隣自治会主催子供祭りへ寄付金贈呈
- 工場内で献血の実施(年2回)
- 亀山ハイウェイオアシス館へ展示品の提供
- 赤い羽根共同募金へ寄付金拠出(年1回)
- 亀山音楽祭(亀山ミュージックジャンボリー)への協賛
- 工場周辺で交通巡視の実施
- 第52回交通安全国民運動中央大会に参加
  交通安全優良団体賞受賞(全国43団体)
- 高校生による工場見学の受け入れ

三重工場 駅伝大会

三重工場 納涼大会

■ 群馬工場

- 地域自治会主催の夏祭りに協賛

■ 研究開発センター（東京）

- 地元町会の桜植樹活動に協力
- 地域のマラソン大会への参加

地域のマラソン大会

研究開発センター（東京）植樹祭

地域の環境を守るために

リケンテクノスでは、環境を守るため、ボランティア活動など様々な取り組みを行っています。

■ 埼玉工場

- 工場周辺ゴミ拾い（月1回実施）
- 岡部駅までの線路沿いゴミ拾い（年2回実施）
- ゴミの分別による廃棄物削減
- 納入業者、社員駐車場のアイドリングストップ指導、実施

埼玉工場 工場周辺ゴミ拾い

■ 三重工場

- 工場周辺道路および河川敷の清掃活動（年2回）
- 亀山市主催清掃ボランティア活動への参加（年2回）
  （川と海のクリーン大作戦・不法投棄禁止キャンペーン）
- （春季・秋季）緑の募金へ寄付金拠出（年2回）
  主催団体：（社）三重県緑化推進協会
- かめやま会故（エコ）の森環境整備活動への協賛および森林整備ボランティア活動（年4回）
- 環境省主催ライトダウンキャンペーンの実施

三重工場 工場周辺ゴミ拾い

地域の皆様とのかかわり

三重工場 不法投棄根絶運動

■ 群馬工場

- 隔月の安全パトロール時に工場周辺公道のゴミ拾い
- リサイクルを意識したゴミの分別排出
- 通年を通した省エネ活動の推進
- 太陽光発電による再生可能エネルギーの使用
- 太陽光発電電力の売電により広義でのCO_2削減に貢献

■ 研究開発センター（東京）

- センター周囲のゴミ拾い（年2回）
- リサイクルを意識した分別排出
- 省エネ活動の推進（通年）

研究開発センター（東京）美化運動

社会への貢献

米国のリムテックコーポレーションとリケンエラストマーズコーポレーションでは、毎年「ユナイテッドウェイ」*1の募金活動に参加しています。

また、米国のリケンエラストマーズコーポレーションでは、貧困により食事支援が必要な学校の子供たちのために運営されている「バックパックプログラム」*2に寄付をしています。

リケンエラストマーズコーポレーションの社員、ローラ・トーマスさん。
ユナイテッドウェイのキャンペーンのリーダー役として活動しました。

不要な段ボールでカヌー競技大会を開催

リケンエラストマーズコーポレーションでは、ホプキンスビル中学校へ不要となった段ボールの寄付を行い、段ボール製カヌー競技大会の開催に協力しました。中学生は、自分たちでカヌーの設計から組み立てまでを行いました。3つの学校が参加し、工作プロジェクトの一環として地域の教育に寄与しています。

リケンエラストマーズコーポレーションのリンダ・ケラーさん。寄付のための段ボールと共に。

段ボールで作成したカヌー競争。

*1 ユナイテッドウェイ:アメリカで最大規模の募金組織
*2 バックパックプログラム:支援が必要な家庭へ様々なボランティアサービスを行う団体

小学校での進路説明会（Career Fair）

リケンエラストマーズコーポレーションでは、ペンブローク小学校での進路説明会に参加しています。社員が訪れ、子供たちに大学生活のことなどを説明し、進路について準備できるような取り組みを行っています。

進路説明会に参加するリケンエラストマーズコーポレーションのローラ・トーマスさん

ペンブローク小学校

インターンシップ

未来を担う子供たちのために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。埼玉工場・三重工場ともに家庭用ラップの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。

2014年1月に実施した埼玉工場での職場体験記をご紹介します。
フィルム製品、家庭用ラップの製造工程、およびエンジニアリング部門での実習を体験していただきました。

埼玉工場　埼玉県熊谷工業高等学校

機械科　生徒代表

私は、インターンシップを4日間行いました。
初日から3日目まではフイルム製造部門、4日目は工場内の機械などを管理、整備しているエンジニアリング課で実習を行いました。
フィルムの製造現場では、壁紙の素材となる製品について教えていただきました。フィルム製造では、精密な検査を行っていてとても驚きました。肉眼では確認できないほどの細かな傷やよごれ、フィルムの厚みなどを特殊な機械や光を使って検査していました。一つの製品が出来るまでに時間と労力がかかっていてとても大変な作業だなと思いました。そんなシビアな作業の中でも皆さんは私たちに丁寧に優しく作業を教えてくれて、あまり緊張することなくフィルムの梱包やサンプル取りなどの作業を行うことができました。
この4日間は全てが新鮮でとても良い貴重な経験ができました。

埼玉工場での職場体験

埼玉工場　埼玉県熊谷工業高等学校

電気科　生徒代表

私はインターンシップの4日間で様々な経験をしてきました。
最初の3日間は、製造されたフィルムのサンプル採取と梱包作業をやらせていただきました。初めておこなう作業だったのですが、担当の方が優しく教えてくれたので失敗することなく仕事を終えることができました。
4日目には、エンジニアリングの仕事でモーターのベアリングの交換作業をやらせていただきました。最初に故障した状態の音を聞き、モーターを分解してベアリングを交換して組み立て直し、再度音を聞くという作業でした。初めてモーターを分解でき、とても楽しい経験になりました。
この4日で体験したことを忘れず、今後の就職活動に活かしていきたいと思っています。

埼玉工場での職場体験

従業員とのかかわり

リケンテクノスグループでは、社員一人ひとりが「仕事を通じて成長する」ことを目指しています。
また、より良い環境で働くことができるよう様々な制度を設けています。

管理本部長メッセージ

リケンテクノスでは、2013年4月に開始しました新3ヵ年中期経営計画において「Dimensional Change～グローバル、更なるスピードアップ～」を経営方針に掲げ取り組んでいます。管理本部の最重要課題は「グローバル人材の育成・強化」であります。これは単に従業員の語学力強化に努めるだけではなく、言語・文化・価値観の異なる環境においても、従業員一人ひとりが当社グループの方針を理解し、チームとして目的を達成するよう「強い当事者意識」を持ち行動できる「真のグローバル人材」を育成することが重要となります。文字通りの「グローバル企業」を標榜し、皆様と共に発展していく人材を育成するよう取り組んで参ります。

リケンテクノス株式会社
取締役　管理本部長 兼 総務部長
入江（いりえ） 淳二（じゅんじ）

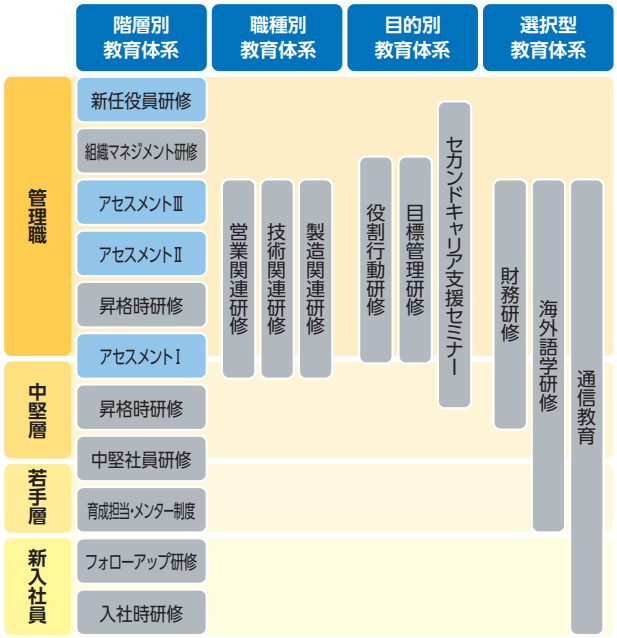
経営層の育成

経営補佐層の方々を対象に「組織マネジメント研修」を実施しています。戦略的思考とプロセス管理力の獲得を目的に、各プロジェクトを成功させるべくアクションラーニングを行っています。

人材育成の考え方

企業の成長は、社員一人ひとりの成長によって支えられています。「私たちは応援します!自ら成長しようと努力するひとを!」をスローガンに、努力している社員を応援し、社員も会社も成長していく相互成長の関係を築ける体制作りを行っています。その施策として、自己申告制度を導入して一人ひとりの志望・要望と元気度などを面談を通じて把握し、より成長できる環境づくりにつなげています。また、会社の求める人材像として「自立・創造・実践できる人」を掲げ、各人が役割に応じた行動を確実に実践するように人事制度上も役割行動考課を導入し、「仕事を通じて成長する」ことを図っています。これらの活動を通じて、社員一人ひとりが成長し、会社が目指している高付加価値型企業基盤の確立の実現へつなげています。

● リケンテクノス教育プログラム



洋上研修

リケンテクノスでは、(社)日本経済団体連合会の主催する洋上研修に毎年参加しています。洋上研修を通して、リーダーとしての役割を学ぶと同時に、企業の枠組みを超え、様々な人と交流する機会を設けています。今年は、4名の社員が参加しました。

研修船の「ぱしふぃっく びいなす」

船内で行われた団結式の様子

埼玉工場 フイルム製造一課 係長
木部(きべ) 哲陽(てつはる) さん

洋上研修に参加させて頂き本当にありがとうございました。研修で私が身につけることができたのは、忍耐力・行動力・協調性・理解力・統率力など様々あります。異業種・年齢も違う人間がいきなり出会い、意思を協調し合うことは簡単ではありませんが、そこに方向性を見いだせるリーダーとなる人間がいればどうにかなるのだと感じました。この良き体験を会社で発揮していきます。今後も洋上研修を続けて行って頂きたいと思います。

埼玉工場 フイルム製造二課
菱山(ひしやま) 勝俊(かつとし) さん

異業種の沢山の方々と船の中という閉ざされた空間で過ごした8日間の共同生活の中で、「励まし合い」「助け合い」「本音で語り合う」ことは、自分を見つめ直す良い機会となりました。このような貴重な経験ができる機会を与えてくださったことに感謝いたします。今後もこの研修を続けて頂き、多くの方が素晴らしい経験ができればと思います。ありがとうございました。

三重工場 コンパウンド製造二課 係長
片岡(かたおか) 尚(ひさし) さん

今回の洋上研修では通常と異なる環境の中で、一つの課題をグループで進めていく難しさを学びました。作業を円滑に進めるには、互いにコミュニケーションをとり合い、協調性を持って望まなくてはいけない。その過程はリケンテクノス ウェイの重要性を実感するものでした。貴重な8日間の体験をさせていただき有難うございました。

群馬工場 フイルム製造課
小沼(こぬま) 正明(まさあき) さん

第49回洋上研修に参加させて頂きありがとうございます。このような大規模研修に参加するのは、私自身初めてのことであり、様々な不安もありました。しかし、異業種の方々とコミュニケーションを取れたことは非常に貴重な経験となり、研修を通じて自分自身を見つめ直すことができた8日間でした。研修で学び、経験したことを職場に活かせるよう積極的に努めてまいります。

従業員とのかかわり

「もの造り」の継承

リケンテクノスでは、世界中どの国でも同じ品質の製品を生産できるよう、海外関連会社の現地スタッフへの教育を実施しています。2012年10月からは、インドネシアにあるPT.リケンインドネシアから3名の実習生を受け入れ、三重工場で研修を行っています。

PT.リケンインドネシア
ランディ・オクタリダルマン さん

日本といえば、先進国だと思っています。ですから、日本で仕事をしたい人がたくさんいます。インドネシア人にとって、日本で仕事を見つけるのは難しいです。ですから、私にとって、日本で働くことができるのは、本当にいい経験だと思います。初めて日本人と仕事をした時にコミュニケーションがあまりできない、とちょっと心配しましたが、日本人が「頑張って」と言ってくれたので、私は仕事と日本語の勉強をもっと頑張ります。それから、仕事の時には、安全のためのルールをすごく守ります。そして、仕事が速くて、結果がいいと思います。いつか、私はインドネシアへ帰ったら、日本人のように仕事をもっともっと頑張りたいと思います。

PT.リケンインドネシア
スヘルマン・サプリ・サミン さん

私は、日本に来た時にきれいな国だと思いました。どこにもゴミがありませんでした。日本人は、国のルールをとてもよく守ると思います。そして、日本はとても安全な国で、私は一人で家からでかけることがこわくなくなりました。そして、三重工場のリケンテクノスでは、みんなやさしくて、会社のルールはみんな必ず守ります。仕事で何かわからないことがあると、みんなしっかり教えてくださいました。日本人は、自分の安全のために、いろいろなことを守らなければなりません。ですから、日本で働くことはとてもいいと思います。

PT.リケンインドネシア
イカ・スプリアトナ さん

初めて日本に着いた時は、寒かったです。道がきれいで、どこにもゴミがありませんでした。来日してからもう1年8か月ほど経ちました。日本の生活はすごくいいです。日本は安全で、どこに行く時も心配ありません。日本人はどこでもルールを守っています。例えば、仕事をする時、安全器具を必ず使用しています。仕事が始まる10分前に現場に来て、すごく真面目だと思います。ほかには、独自の文化があります。挨拶の時お辞儀をする、家に入ると靴を脱ぐ、そばやラーメンを食べる時、音をたてます。日本の文化は世界の中ですごくユニークです。

※本人による日本語のコメントです。

子育て支援

■ 育児休業制度

最長2年間の休業ができます(男性も取得可能)。さらに育児休業の最初の3日間は有給とし、男性も取得しやすくしました。現在、3名の社員が利用しています。

■ 育児短時間勤務制度

育児をしている社員が、1日6時間まで勤務時間を短縮できます。家庭や保育園などの個別事情に応じた働き方が選べます。小学校入学前まで利用できる制度です。現在は2名の社員が利用しています。

社員の多様性への対応

当社は社員の多様性、人格、個性を尊重し、人権および雇用機会均等などにも配慮をしています。当社では女性が活躍できるような様々な取り組みをしており、現在、女性管理職もいます。また、外国人の採用も積極的に行っています。

再雇用制度

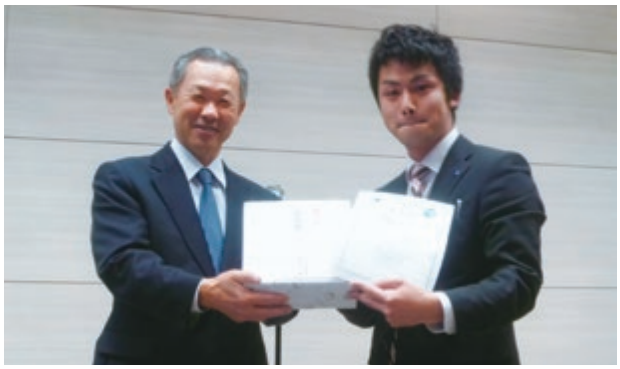
定年(60歳)を過ぎた従業員の活用は、会社にとっては技能伝承の面で、社員にとっては生活の安定という面で、双方にメリットがあります。そこでリケンテクノスでは2006年度から組合員層、管理職層を対象にした再雇用制度を導入しています。

表彰制度

リケンテクノスでは表彰制度や職務発明制度を設けています。業務の効率化や企業体質の改革、社員のモチベーション向上につながる改善提案、発明などに対して表彰を実施しています。

経営理念の浸透

経営理念である「リケンテクノス　ウェイ」を社員に浸透させるため4つの制度を設けています。そのうちのひとつ「サンキューカード」は、社員同士で感謝の気持ちを表すもので、海外拠点でも導入が進んでいます。サンキューカードを多くもらった社員への表彰も行っています。



清水社長から表彰される総務部人事グループの船越 謙司さん。
2013年度でサンキューカードを一番多く贈られました。

リケンタイランドカンパニーリミテッドで設置されているサンキューカードを入れるボックス

米国リムテックコーポレーションでのサンキューカード

安全衛生活動

■ 安全衛生の考え方

当社は、人間尊重を基本とし労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え、健康で安全な職場環境の維持向上に努めます。

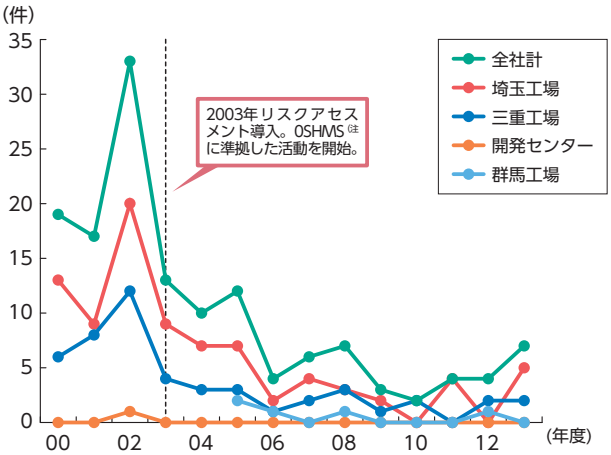
■ 「リスクアセスメント」による危険・有害源撲滅活動の定着

2003年にリスクアセスメントを導入後、職場に潜在している危険・有害要因を排除・隔離し、リスクを低減させる未然防止型の改善活動が定着しました。
「災害ゼロ」から「危険ゼロ」となるように先取り型の改善活動が全員参加で強力に進められています。

■ 労災件数

労災件数は、2010年度2件、2011年度は4件、2012年度は4件、2013年度は残念ながら7件でした。労災件数が増えたことを受け、「KYT」「リスクアセスメント」「フェールセーフ・フールプルーフ」「指差呼称のすすめ」「設備安全審査手順」等の再講習、安全意識調査、リスクアセスメント作業標準の見直し、安全衛生パトロールの強化を行っています。

● 全社労災トレンド(休業+不休)



注) OSHMS：Occupational Safety and Health Management System
(労働安全衛生マネジメントシステム)

■ ヒューマン・エラーによる災害の防止

究極の目標である「災害ゼロ」「危険ゼロ」を達成させるための今後の取り組みとして、人的要因(ヒューマンファクター)に起因する災害を予防していきます。
人は何故ミス・エラーするのか、真の原因を究明し予見される誤使用に対し基本的な安全および安全防護についての措置をとっていきます。

従業員とのかかわり

取締役メッセージ

2014年リケンタイランドカンパニーリミテッド
従業員とのかかわりを強化するために

リケンタイランドカンパニーリミテッドは今年も、従業員のご子息・ご子女へ奨学金を授与しました。今年で6回目となりますが、厳正な審査により応募者の中から13名が選ばれました。授与式には、ご子息・ご子女の皆さんに会社に来て頂き、ご両親が実際に働いている職場の見学も実施しました。お礼の手紙も頂きましたので、一部を当報告書にてご紹介いたします。お礼の手紙は社内で掲示し、その微笑ましいメッセージに従業員の心も和んでいます。

この奨学金制度をはじめとして、従業員とのかかわりをさらに強化してまいります。

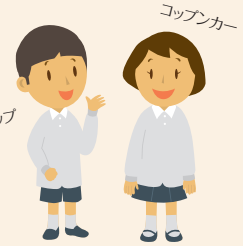
リケンテクノス株式会社
取締役
リケンタイランドカンパニーリミテッド
マネージングダイレクター
大河内（おおこうち） 義孝（よしたか）

奨学金制度

社員の子供達の勉強を推進することで社員を支援するため、リケンタイランドカンパニーリミテッドでは、奨学金を社員の子供達に授与しています。2014年度は13人に付与しました。

リケンタイランドカンパニーリミテッドの2014年度奨学金を受けた皆さん

奨学金を受けた子供達



キッティポップ ブアルアン くん
小学3年生

物流原料担当
シェーッター ブアルアン
のお子さん

ティティマー ミーウサー ちゃん
小学3年生

技術担当
プーワドン ミーウサー
のお子さん

スティマー タブサーイ ちゃん
小学3年生

物流製品担当
ワライラット ソーマピー
のお子さん

ナタノン プントー くん
小学3年生

物流原料担当
マーノーチ プントー
のお子さん

シャラントーン アムパイ くん
小学3年生

QA担当
プラウィット アムパイ
のお子さん

チェーンチラー ティーラポン ちゃん
小学4年生

製造オフィス担当
ナルモン ルンシャイパイブーンスック
のお子さん

ウィパーウィー プーウィパーク ちゃん
小学4年生

医療用製造担当
ウィルット プーウィパーク
のお子さん

サヤーモン カムディー ちゃん
小学5年生

医療用製造担当
タナーウット カムディー
のお子さん

リンラダー サンマニー ちゃん
小学6年生

シッピング担当
チュターマースクワンターウォーン
のお子さん

ナッシャヤー ウォンチャラーンターウォーン ちゃん
小学6年生

総務担当
スナンター チャイチャラーン
のお子さん

タワンシャーイ スィーチュイサーイ ちゃん
小学6年生

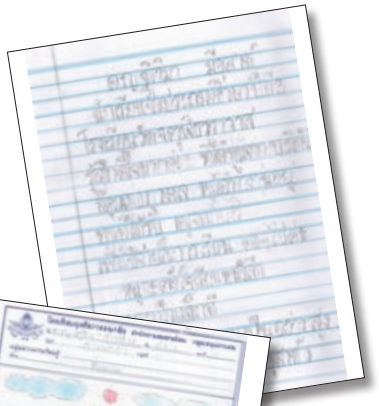
医療用製造担当
スラサック スィーチュイサーイ
のお子さん

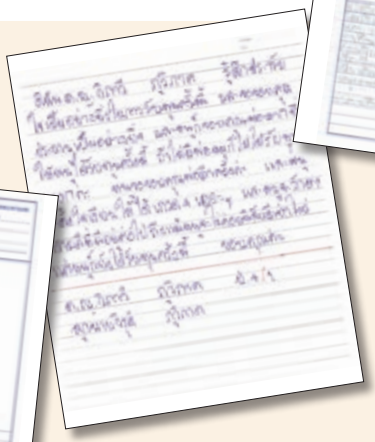
アンティカー アンカハード ちゃん
中学2年生

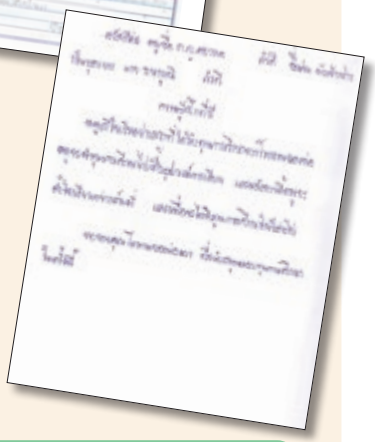
エンジニアリング担当
シューシット アンカハード
のお子さん

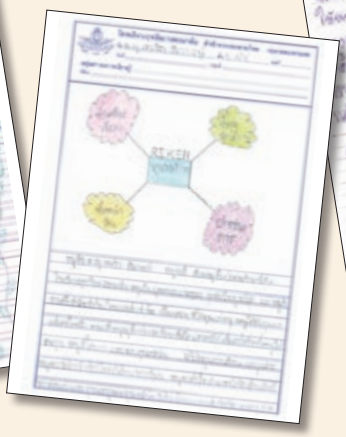
ラッサワディー カッドファン ちゃん
職業専門学校

エンジニアリング担当
パーンレーカー カッドファン
のお子さん









代表者からのメッセージ

●こんにちは。私の名前はナッシャヤー 苗字はウォンチャラーンターウォーンです。
この奨学金を頂戴し、とても嬉しいです。私はこの奨学金を2回頂戴致しました。1回目は自分で受けに行きませんでした。2回目は、2014年5月5日に自分で受けに行きました。自分で受けに行ってとても嬉しかったです。たくさんの人と会えました。私がこの奨学金を使います。また、良い成績のために、まじめに勉強致します。リケン（タイランド）社がずっと儲かりますようにお祈り致します。
有難うございました。
ナッシャヤー ウォンチャラーンターウォーン

●私は、チェーンチラー ティーラポンと申します。10歳です。リッティヤワンナーライ学校の小学4年生です。ナルモン ルンシャイパイブーンスック母の子です。母は、私に奨学金を下さったリケン（タイランド）社で働いています。小学2年生の時に一度奨学金を頂戴致しました。今回の奨学金受取は2回目です。私はとても嬉しいです。奨学金を下さいまして、有難うございました。勉強のために使います。私はまじめに勉強して、父母と先生の良い子になりたいと思います。リケン（タイランド）社、どうも有難うございました。
チェーンチラー ティーラポン

●私は、ウィパーウィー プーウィパークと申します。今回奨学金を頂戴し大変印象に残ります。社長さま、有難うございました。また、奨学金を頂戴させて下さった父、有難うございました。父がいなければ、私が今回の奨学金がもらえない訳だからです。グレード4たくさん取れるように、まじめに勉強します。自分の良さを守って行きます。
有難うございました。
ウィパーウィー プーウィパーク（小学4年生）

●父親が働いている会社から奨学金を頂戴し、嬉しいです。お菓子も頂けて、家まで車で送って頂けました。また奨学金が頂戴できるように、まじめに勉強致します。有難うございました。
ナタノン プントー
アトムくん（ニックネーム）

●こんにちは。私はスティマー タブサーイです。ワライラット ソーマピーと、アヌシット タブサーイの子です。小学3年生です。私は絵を描くことと、ダンスと、タイダンスが好きです。今年奨学金を頂戴し、感謝致します。コンピュータの追加勉強に使います。残りは、勉強の効率を上げるために、近眼の眼鏡をつくります。それに、Kumonで数学も追加勉強します。
母の会社がタイの子供の勉強を大事にして、感謝しております。
スティマー タブサーイ

（現地社員による日本語訳です）

環境管理活動

環境方針

あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次の事を実施します。

❶ 事業活動において、環境法規及びその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規定類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防を推進します。
❷ 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、さまざまな素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
❸ 可能な限り無駄を削減し、原材料の有効利用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生態系への負荷を軽減します。
❹ 環境方針を含め社内規定類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
❺ 環境方針達成のために環境目的及びできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
❻ 以上の活動を当社グループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
❼ 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

ISO14001認証取得

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

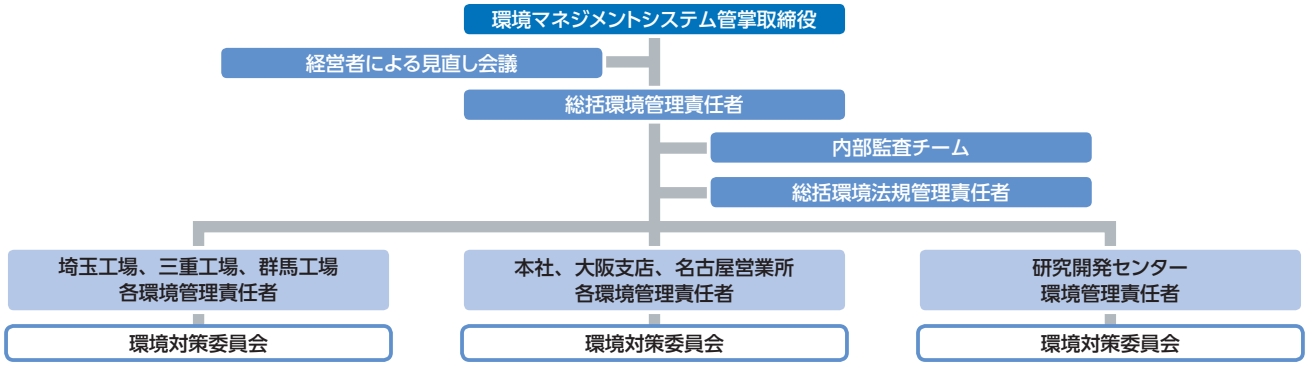
初回登録　2001年10月31日　　有効期限　2016年8月30日

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業の構築に取り組んでいます。

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム組織図

環境マネジメントシステム管掌取締役がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



推進体制

環境に関する主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を示します。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による環境マネジメント見直し会議	全取締役、総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議

総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしました。

責任者名	役職名	役割
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
環境管理責任者	サイトの責任者（工場長等）	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	総括環境法規管理責任者	環境関係法規等の管理

環境監査の体制

(1)内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2013年度は68部署で監査が実施され、34件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると175件の指摘件数がありました。文書管理、記録管理に関する事項が多い状況でした。是正処置の実施により引き続きマネジメントシステムの改善・確実な実施を図っていきます。

(2)外部監査

外部審査機関の日本海事検定キューエイ(株)による更新審査を、全サイトを対象に受審いたしました。2013年度は、軽微な不適合12件、改善事項24件の指摘がありました。環境情報に対する適切な報告書の使用等の指摘に対し、改善に取り組みました。

また、2013年度は11社の顧客の監査を受けました。顧客監査による23点の指摘につきましては、改善を実施、報告いたしました。

緊急時対応

各サイト・各部門で想定しうる緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的に訓練を実施しています。

当社は多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。2013年度は少量の樹脂およびオイルの漏洩がありましたが、工場外への流出は無く、訓練どおり対処されました。

従業員の環境教育・啓発の実施状況

2008年度から、エネルギーの大切さ、地球温暖化(二酸化炭素排出削減)への意識向上を図ることを目的に、従業員とその家族を対象に、日常生活における「エコライフDAY」アンケートを実施しています。2013年度は従業員とその家族から(夏:1,432名、冬:1,576名)回答が寄せられ、一人当たりの平均二酸化炭素削減量は(夏:837g-CO_2/日、冬750 g-CO_2/日)でした。また、CSR報告書を社員全員に配布し、一人ひとりの活動結果がおよぼす当社全体への影響を理解するよう啓発しています。

	参加者数(名)	削減量(g-CO_2/人・日)
2011年度夏	1,083	962
2011年度冬	899	840
2012年度夏	1,341	723
2012年度冬	1,211	835
2013年度夏	1,432	837
2013年度冬	1,576	750

事業活動に係る環境法規・協定

各生産拠点、各営業拠点での遵守すべき環境法規・協定等およびその概要を「環境適用法規基準」にて明確にし、環境法規の遵守を徹底しています。2013年度の活動の結果、環境に関する法規・協定に対する違反はありませんでした。

● **拠点ごとの遵守すべき環境法規・協定等の件数**

埼玉工場	36件	大阪支店	4件
三重工場	33件	名古屋営業所	5件
群馬工場	28件	研究開発センター	24件
本社	4件		

活動結果の概要

製造本部長メッセージ

リケンテクノスはもの造り力を強化するために、革新的な製造方法にチャレンジできる環境作りを推進しております。
製造本部は、3ヵ年の課題「スピード2倍、コスト1／2」を達成することによって、製造エネルギーを革新的に低減することを目指しております。
今期は、コンパウンド製造部門は既存設備の限界性能の追及で更なる生産性改善によるコスト削減に、フィルム製造部門は既存設備に新規設備を融合させることによる生産効率向上とコスト削減に、エンジニアリング部門は高効率設備の導入とエネルギーロスの削減に革新的視点から取り組んでいきます。
加えて、各工場では、例年通り、廃棄物の減容化と工場隣接地域の清掃にも注力し、地域の美化に貢献していきます。

リケンテクノス株式会社
取締役 製造本部長 兼
ソリューションビジネスユニット
マネージャー
田坂（たさか） 道久（みちひさ）

2013年度環境目標と実績

当社は毎年環境方針を基に、事業環境に見合った環境目標を設定し、改善活動を進め、二酸化炭素（CO_2）の排出量削減、産業廃棄物の排出量削減そして化学物質の管理強化を主テーマとして全社横断的に取り組んでいます。
2013年度は、全社各部署合計で158件の目標が設定され、117件(74%)が達成されました。以下に詳細を示します。

(1)CO_2排出削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
76	54 (71%)	総排出量削減：2008年度比5%削減 生産量比削減：2008年度比5%削減	2013年度のCO_2排出量は35,426t-CO_2で、2008年度比11%削減。 生産量比では0.395t-CO_2/製品tで2008年度比23%削減しました。

「京都メカニズムクレジットや国内認定排出前減量等を反映した調整後温暖化効果ガス排出量から換算した調整後排出係数」が発表されており、それに基づいて2010年度以降のCO_2排出量を計算し直しました。今後は、排出係数の変動に影響されないエネルギー使用量削減を目標に取り込み活動します。2013年度の生産量比における使用熱量および電気量は、2008年度に対して約11%改善いたしました。

(2)産業廃棄物削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
30	23 (77%)	単純廃棄物量の総生産量比:0.3%以下 総廃棄物量の生産量比：4%以下	単純廃棄物量の総生産量比0.14%、総廃棄物量の生産量比は、4.09%で早期の目標達成が待ち遠しい状況。

(3)①化学物質管理の強化と②環境配慮型製品の開発

	目標設定件数	達成件数	目標	結果
①	39	36(92%)	独自に指定した化学物質の使用削減、使用停止。環境配慮製品の開発。	化管法第一種指定化学物質の2013年度使用量は2,255tで、2001年度比81%削減しました。
②	13	4 (31%)		

*単純廃棄物:単純に埋立あるいは燃焼処理された廃棄物

リケンテクノスの環境負荷の状況

当社の事業活動からは、産業廃棄物の排出、温室効果ガス（二酸化炭素）の排出、化学物質の排出・移動が大きな環境負荷項目として挙げられます。各々排出削減や適正管理に努めています。リケンテクノス全事業所（単体）での環境負荷実態を記載します。

生産に係る製品1トン当たりのCO_2負荷量(2013年度)

インプット		アウトプット	
原材料（塗料等含む）	79,800t	コンパウンド製品	60,900t
梱包資材	2,500t	フィルム製品	10,600t
電気	67,100MWh	包装用ラップ製品	8,100t
重油	3,380kl	総廃棄物	3,600t
水道水	135,000m³	排水量	214,100m³
地下水	121,000m³		
工業用水	10,700m³		

CO_2負荷量 (t-CO_2/t)	
コンパウンド	0.19
フィルム	0.80
包装用ラップ	0.22

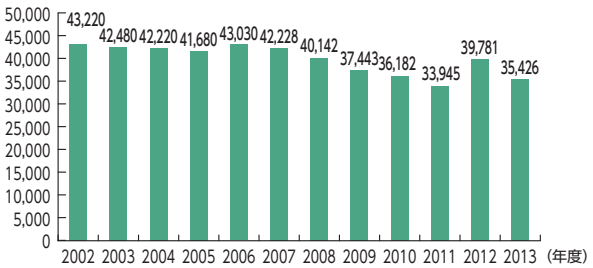
省エネルギーと温室効果ガスの排出削減

当社は埼玉工場、三重工場が第一種エネルギー管理指定工場に指定され、群馬工場は第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。当社の事業活動から生じる温室効果ガスの主なものはCO_2(二酸化炭素)です。二酸化炭素の排出量削減の目標として「2013年度に2008年度比5%削減」を掲げ活動を展開しました。設備の稼働効率向上、空調機のデマンド制御*1、工業用圧搾空気・蒸気の漏れ防止管理等の省エネ活動を推進しています。なお、空調機の冷媒フロンは温室効果ガス*2であり、使用・廃棄時漏れのないよう管理の徹底を図っています。

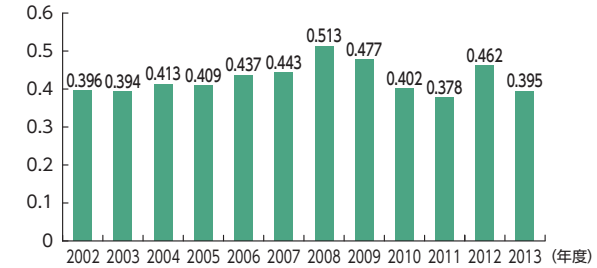
2013年度の使用熱量および電気量は2008年度に対し約1%増加いたしました。2012年度末、群馬工場の隣接地に再生可能エネルギーである太陽光発電設備導入しました。2013年度は、当社群馬工場に約75,000kWh/年を供給し、約761,000kWh/年を売電しました。

リケンテクノス株式会社　ソーラー発電所(群馬工場の施設内)

● 二酸化炭素排出量(t-CO_2)



● 生産量比排出量(t-CO_2/t)



※2010年度から調整後の排出係数を使用した値です。

*1　空調機のデマンド制御とは、電力会社との契約電力の最大値に近づいた時、自動的に空調機の圧縮機を停止させ電力の消費を抑える制御方法をいいます。

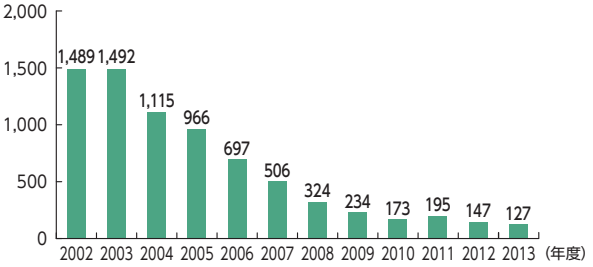
*2　温室効果ガスは、埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター、本社および各営業拠点で使用した電気、重油等の消費によるCO_2排出量を算出しました。2005年より本社を、2008年度より各営業拠点を含みCO_2排出量を計上しています。物流における石油燃料消費のCO_2排出量は除いています。

廃棄物の削減

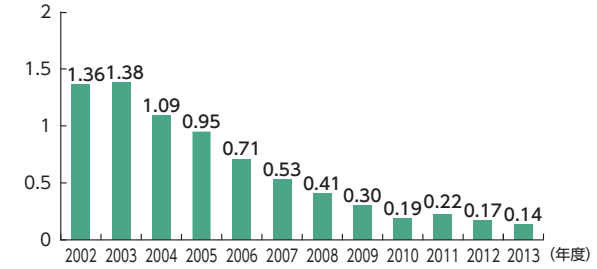
当社は、製造段階で発生する埋立・焼却廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置付け、2013年度から新たな目標「単純廃棄物量の総生産量比 0.3%以下、総廃棄物量の生産量比 4%以下」に取り組むこととしました。工程改善による歩留り向上等により、廃棄物の発生そのものの抑制を図るとともに、発生した廃棄物に関しては分別を徹底し、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、RPF(プラスチック由来の固形燃料)、セメント原料化等の有効利用への転換を図っています。

削減活動の結果、2000年度の埋立・焼却廃棄物発生量2,255トンに対し、2013年度は127トンで、94.0%削減しました。

● 単純埋立燃焼産業廃棄物発生量(t)



● 生産量比率(%)



*埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センターで発生した単純埋立燃焼廃棄物量です。

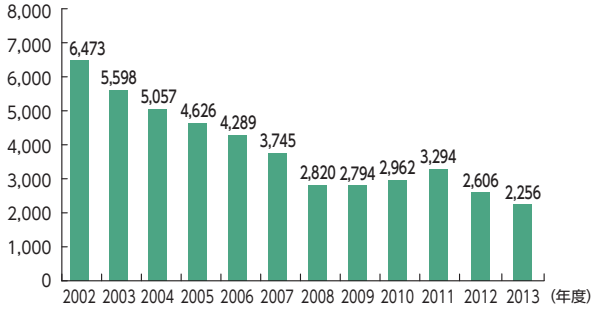
活動結果の概要

化学物質の適正管理

当社は、従来から化学物質審査規制法、労働安全衛生法や消防法等に基づき、化学物質管理を実施しています。1999年度には管理徹底のため集計システムを構築し、2001年4月施行の化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)に対応できる体制を整えました。

2009年10月には、化学物質排出把握管理促進法が改正施行され、PRTR対象化学物質の種類変更がありました。そのため、2010年度より新対象化学物質の使用や排出量等の集計を実施し、2011年度には、A重油に含まれるメチルナフタレン使用量も集計に追加しています。2011年度は弊社グループ会社のリケンタイランドカンパニーリミテッドが洪水被害に遭ったことにより、日本国内において生産支援を行いました。その結果、化管法第一種指定化学物質の使用量が3,294トンと著しく増加いたしましたが、2012年、2013年度と連続して減少傾向にあります。第一種指定化学物質の使用種類数は、2013年度22種類でした。うち1トン以上使用し国へ届出したものは7種類でした。

● PRTR対象化学物質の使用量(t)



PCB廃棄物の保管状況

2001年7月、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB*1特別措置法)が施行されました。グループ全体での管理強化のため2005年度中に関係会社で保管していた6台の廃PCB機器を埼玉工場に移動・保管しました。研究開発センター(蒲田)で保管していた高濃度PCB廃棄物は、2012年度、国指定の処理施設で処理しました。埼玉工場、三重工場の2事業所では、PCB廃棄物として主に高圧コンデンサがありますが、適切に保管管理しており、順次、適正に処分される計画です。

また1989年以前の重電機器には微量のPCBが含有された絶縁油が使用されている可能性が高いため、使用中のコンデンサ・トランスを順次、調査分析を進めています。

事業所名	PCB廃棄物	保管方法
埼玉工場	高圧コンデンサ 15台(高濃度) 高圧トランス 2台(低濃度) PCB含有廃水・廃油 1,446L(低濃度)	鉄製容器に保管
三重工場	高圧トランス 4台(低濃度) PCB含有廃油 350L(低濃度) PCB含有ウェス 300g(低濃度)	鉄製容器に保管

ストック汚染・公害防止の取り組み

2001年に各工場、事業所の調査を行った結果、旧蒲田工場に土壌汚染が確認され、土壌改質を継続しその状況を監視してまいりました。当該地の土壌改質工事を実施し、土壌汚染のない状態にし、2011年度に売却しました。また、この敷地を利用していた研究開発センターも隣接する敷地に移転しましたが、この敷地においても土壌汚染が確認されたため、移転にあたり一部について汚染拡散防止措置を施しました。

各サイトでは、環境法規制および自主規制監視項目について定期的に測定を実施しています。項目として排ガス、地下水、騒音、振動、臭気、放射線、粉塵などがあり、特に騒音対策に配慮しています。各工場では近隣住民の皆様と懇談会を定期的に開催させていただき、環境測定値の公開、工場内の査察の実施を通じ当社の事業活動へのご理解をいただいています。

*1 PCB: Polychlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称

特定化学物質規制への対応

原材料管理については、欧州におけるREACH*1への対応、また日本における化学物質に関する諸規制の改正への対応をより充実するため、化学物質含有情報シートを作成し、2009年8月からRoHS6物質の測定データ、微量残留化学物質を含めた規制対象化学物質の含有情報を収集することとしました。そして関係会社への適用も明確にし、「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。
お客様に安心・安全な商品を提供することはメーカーの使命であり、使用する化学物質の安全性を確保することは当社の重要課題として捉え、2006年度に全社横断的な組織である「化学物質管理委員会」を新たに設置しました。『化学物質管理指針』を設定し、法律で製造・使用が禁止されている化学物質はもちろん、化学物質審査規制法の監視化学物質なども使用禁止とし、鉛やトルエンなど法律で使用禁止となっていない化学物質についても、労働安全衛生上使用を避けた方が安全と思われるものは、自主的に削減することを明確に意志表示しました。さらには、新規採用化学物質の審査などを実施し、全社を挙げて安全性最優先の商品を提供する仕組みを構築していきます。

生物多様性

化学物質審査規制法第一種・第二種特定化学物質および監視物質の不使用、PRTR第1種指定化学物質の使用削減等に取り組み、また大気汚染防止法、水質汚染防止法、労働安全衛生法等を遵守して、人への影響、生態系への影響を配慮した製品開発、生産、販売を実施しています。

環境会計

当社は、環境保全活動への取り組みに関する会計情報を2006年度より開示しています。

2013年度環境会計の集計基準

(1)集計範囲:リケンテクノス全事業所(単体)
(2)対象期間:2013年4月1日～2014年3月31日
(3)参考文献:『環境会計ガイドライン2005年版』(H17.2環境省発行)

2013年度環境会計の総括

2013年度は、環境保全コスト投資額約0.5億円、費用額約9.8億円で合計約10.3億円でした。投資額の内訳は公害防止・地球環境保全・資源循環コストです。費用額ではRoHS指令対応のための分析費用やISO維持活動等があり、環境配慮型製品の研究開発費用が約8.6億円と非常に大きなウエイトを占めています。
活動の結果の環境保全効果として、廃棄物最終処分量は、廃棄物削減やリサイクルの推進により、前年度と比べ20t削減の127tでした。また、CO_2排出量については、継続的な省エネ活動等より前年度と比べ4,355t-CO_2が削減され、35,426t- CO_2となりました。
廃プラ等の有価売却・省エネ等による費用削減等で約3,500万円の経済効果を得ることができました。

*1 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則

活動結果の概要

● 環境保全コスト

単位:千円

分類	調査対象の取り組みの内容	投資額*1	費用額*2
1.事業エリア内コスト		51,715	85,410
*公害防止コスト	騒音対策工事、飛散防止設備の維持管理	6,184	46,183
*地球環境保全コスト	省エネ設備の導入・改善	45,531	0
*資源循環コスト	産廃処理、リサイクルコスト等	0	39,227
2.上・下流コスト	製品含有化学物質分析費用	0	15,560
	容器包装リサイクル委託費用等	0	0
3.管理活動コスト	CSR報告書発行、ISO維持活動（外部審査費用） 排水・VOC分析、構内緑地管理費等	0	15,012
4.研究開発コスト	環境配慮型製品の研究開発費	0	865,753
5.社会活動コスト	工場周辺美化活動費、寄付金	0	711
6.環境損傷対応コスト	土壌調査改質費	0	0
合計		51,715	982,446

● 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標		2012年度	2013年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量（GJ）		774,177	791,610
	種類別エネルギー投入量	電気（MWh）	65,861	67,182
		重油（KL）	3,270	3,388
		灯油（KL）	0	0
		ガソリン（KL）	45	47
		軽油（KL）	13	10
	PRTR管理対象物質投入量（t）		2,606	2,265
	水資源投入量	水道水（m^3）	126,219	135,000
		地下水（m^3）	158,093	121,000
		工業用水（m^3）	10,625	10,700
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量（t-CO_2）		41,822	44,333
	PRTR管理対象物質排出量（t）		3.6	5.8
	PRTR管理対象物質移動量（t）		14.6	8.8
	廃棄物等総排出量（t）		3,982	3,600
	廃棄物最終処分量（t）		147	127
	排水量（m^3）		263,803	214,100
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	容器包装使用量（t）		2,900	2,500
その他の環境保全効果	製品等の輸送量（トンキロ）		31,301,114	28,189,435
	輸送に伴うCO_2排出量（t）		5,433	4,911

● 環境保全対策に伴う経済効果

単位:千円

効果の内容	金額	
	2012年度	2013年度
プラスチック・紙屑等の再資源化による利益	5,478	5,930
省エネ等による費用削減	9,495	29,504
合計	14,973	35,434

■ 資産除去債務について

資産除去債務に関する会計処理は2010年4月1日より適用が開始されました。現時点での環境関連法令規定による資産除去債務を、次のように把握しています。

2014年3月末現在　単位:千円

費用内容	処理費用
建物原状回復費	24,348
石綿使用部位の処理費	29,177
PCB使用設備更新費	3,903
土壌汚染処理費	55,895
合計	113,323

*1　投資額:対象期間中の環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの
*2　費用額:環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

リケンテクノスグループ環境データ

リケンテクノス工場別環境データ

■ 埼玉工場

- 敷地面積:58,739m^2
- 事業内容:塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員:235名

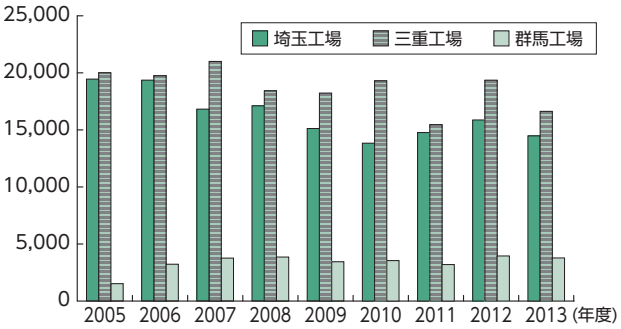
■ 三重工場

- 敷地面積:55,247m^2
- 事業内容:塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員:218名

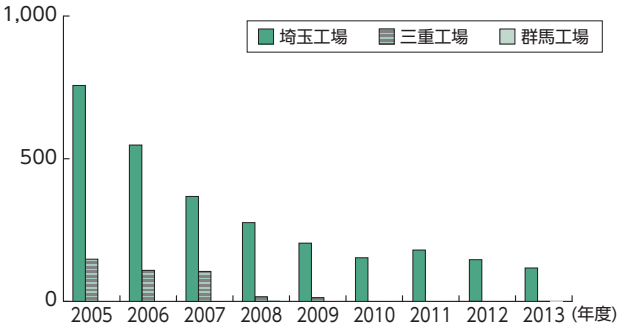
■ 群馬工場

- 敷地面積:55,904m^2
- 事業内容:クリーン環境下での高機能フィルムの製造
- 従業員:44名

● 二酸化炭素排出量(t-CO_2)

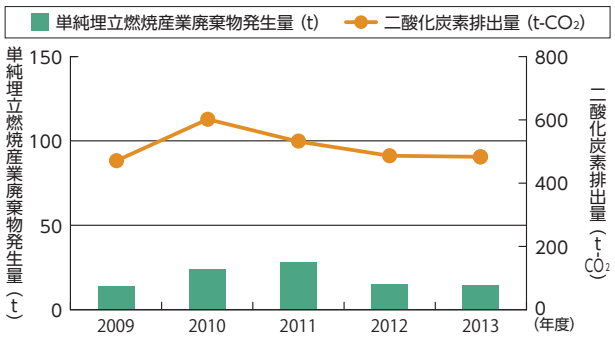


● 単純埋立燃焼産業廃棄物発生量(t)

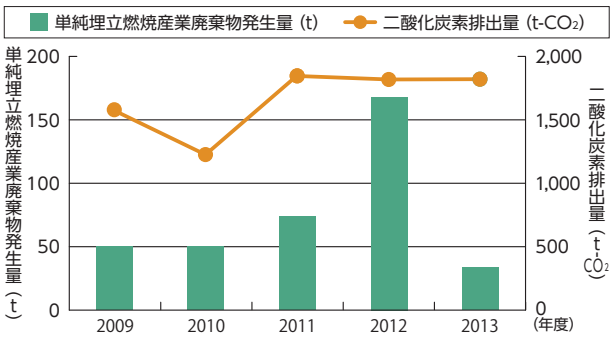


リケンテクノス関係会社環境データ

進興電線株式会社　従業員数 68名

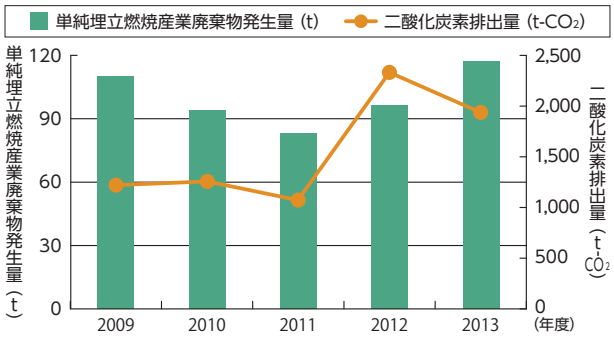


株式会社協栄樹脂製作所　従業員数 50名

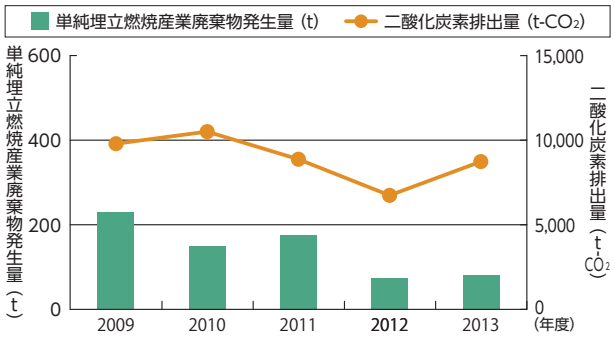


活動結果の概要

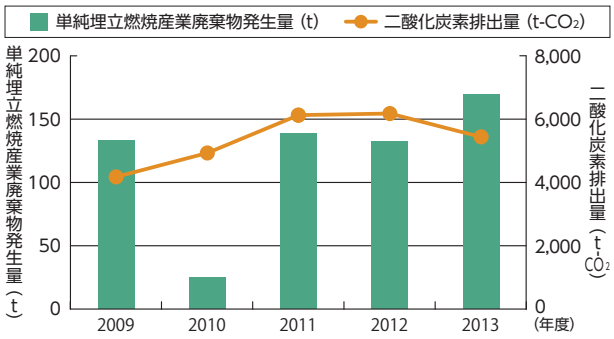
リケンケミカルプロダクツ株式会社　従業員数 55名



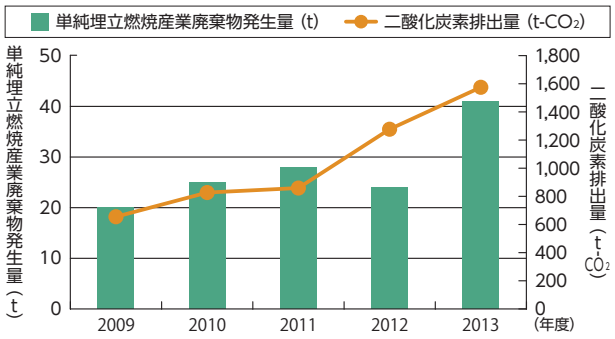
RIKEN(THAILAND)CO.,LTD.　従業員数 202名



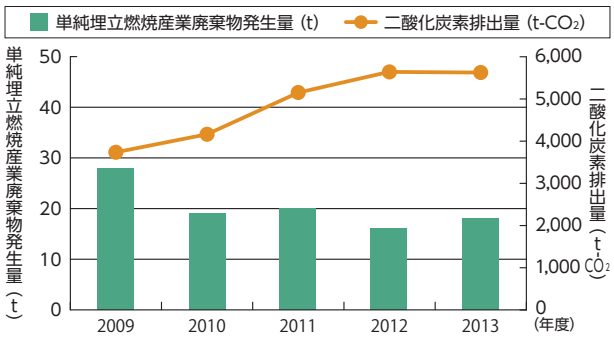
RIMTEC CORPORATION　従業員数 97名



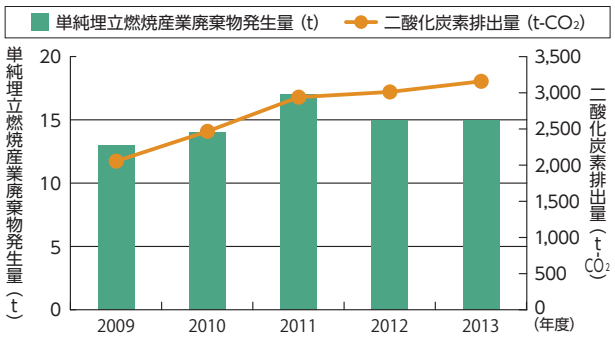
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION　従業員数 20名



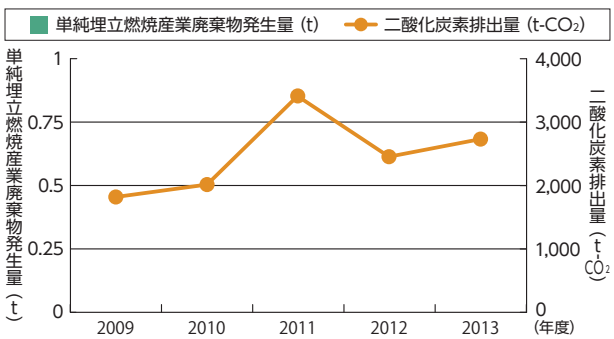
PT.RIKEN INDONESIA　従業員数 171名



SHANGHAI RIKEN TECHNOS CORPORATION (上海理研塑料有限公司)　従業員数 101名



RIKEN TECHNOS(JIANG SU)CORPORATION (理研食品包装（江蘇）有限公司)　従業員数 22名



有識者の意見

株式会社インターリスク総研
事業リスクマネジメント部
環境グループ
シニアマネージャー・上席コンサルタント
成蹊大学　非常勤講師
猪刈（いかり） 正利（まさとし） 氏

評価できる点

●特集『マーケットインを目指して』の各担当者の特徴的な声を抜粋すると、例えば「お客様の課題解決のため」、「市場、産業でのニーズに対し確実に提案を行ない社会に貢献」及び「お客様のニーズに合わせ開発」など、まさにリケンテクノス ウェイのコア・バリューに謳われている「信頼しあい貢献しあう」及び「新しい価値を生み出す」と合致したコメントが多数ありました。一方、これらをCSRの観点から考えると、ステークホルダーからの信頼（CSRのResponsibilityには責任に加えて信頼性という意味もある）を得ながら、貴社の本業を通じて、お客様や社会の課題解決（例：省エネ性能の向上、高い耐湿熱性・耐久性、更なる軽量化、及び安心・安全など）に向け貢献していると言い換えることができます。

●これは昨年も「評価できる点」として指摘させていただきましたが、二酸化炭素排出量、単純埋立燃焼産業廃棄物発生量、及び第一種指定化学物質使用量は、総量（絶対量）及び生産量比率共に、ここ数年明らかに減少傾向にあります。製造現場での地道な生産効率向上とコスト削減のお取り組みが環境面でも表れ高く評価いたします。

さらなる改善が望まれる点

●会社幹部は、「グローバル企業を標榜」及び「グローバル人材3ヵ年計画」といったコメントを随所でなされています。実際、貴社は海外に13社の関係会社があり、世界中に製品を提供しています。このような現状を踏まえると、CSRの世界標準であるISO26000の7つの中核主題（組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティ参画及び開発）と社内方針を関連付ける（紐付ける）ことや、CSR報告書の構成も同中核主題を意識したものに組み替えることが必要な段階に到達されていると推察いたします。ただしこれらは、短期間にすべて対応するのではなく、数年をかけて徐々に舵を切り替えるような段階的な対応を推奨いたします。

●労災件数に関して、2010年度は2件まで減少しましたが、2011年度は4件、2012年度も4件、そして2013年度は7件発生しており、内訳を見ると特定の工場で5件発生しています。この労災事故の概要や傾向、原因分析、そして今後の是正・予防処置などについての情報公開が望まれます。

最後に

会社幹部のみならず、一般社員や新入社員、そして国内外の実習生や奨学金を受けたタイの子供たちなどの多様なステークホルダーのコメントが、顔写真入りで多数掲載されている点は、コミュニケーション・ツールの一つであるCSR報告書として好感が持てます。ただし紙面の制約もありますが、最も重要なステークホルダーであるお客様に、例えば『マーケットイン』に関するご意見をお聞きし、CSR報告書に掲載することなどもご検討ください。

有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役社長　**清水 浩**

グローバル化を加速させる中、当社では、この5年間に海外において販売会社も含め新たに4拠点を設立し、既存の拠点でも積極的に増設を行ってまいりました。この状況を鑑みると、猪刈様よりご指摘いただいたCSRの世界標準であるISO26000をふまえた対応を今後推進していく必要があり、検討を始めたいと思います。

また、労災件数に関しては、残念ながら2010年以降増加しており、原因・是正処置についての情報公開に努めてまいります。
猪刈様のご指摘を真摯に受け止め、「企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続ける」べく、これからもCSR活動を積極的に推進し、ステークホルダーの皆様と、さらに強固な「信頼関係」を築いていけるよう努めてまいります。

編集後記

本報告書では、「マーケットイン」の取り組みについて重点的にご紹介しました。特集では、各市場における当社製品の果たす役割（お客様にお届けしている特性）をご紹介しました。当社製品が様々な産業を支えていることを少しでもご理解いただけたら幸いです。本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者：常盤 和明（取締役 経営企画室長）
マネジメントシステム部　：青木 秀明、水野 裕之、栗原 仁
経営企画室　：吉岡 さやか

リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger
that harnesses the power of science
to improve the quality of life
and create a safe, affluent society.
We continuously provide new value and satisfaction
to people, companies and society
through our original and superior formulations
and manufacturing technologies of multiple resins.

お問い合わせ先
この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リケンテクノス株式会社　経営企画室
〒103-8438　東京都中央区日本橋本町三丁目11番5号
TEL：03-3663-7996　FAX：03-3663-7997

ホームページ
http://www.rikentechnos.co.jp

2014.09.18